

第五十九回帝國議會 特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案外六件委員會議錄(速) 第五回

會議

昭和六年二月十七日(火曜日)午前十時  
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鈴木 寅彦君

理事 服部 英明君

理事 梶谷 寅吉君

理事 宮澤 裕君

眞鍋 儀十君 北原阿智之助君

淺川 浩君 牛場清次郎君

西村金三郎君 高橋 守平君

生方 大吉君 船田 中君

木村 清治君 豐田 收君

津崎 尙武君 松山常次郎君

堀部久太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 關原 忠三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案(政府提出)

特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律案(政府提出)

賠償金特別會計法廢止法律案(政府提出)

昭和四年法律第二十六號中改正法律案(神戸商業大學移轉改築費ニ關スル件)(政府提出)

京都高等工藝學校移轉改築費ニ充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案(政府提出)

製鐵所特別會計法中改正法律案(政府提出)

簡易生命保險特別會計法中改正法律案(政府提出)

○鈴木委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、質問ガ留保ニナツテ居リマス

——松山君

○松山委員 井上大藏大臣ニ質問ヲ致シテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ノ不景氣ハ世界的不況ノ影響ト、金

解禁ノ影響ヲ受ケテ居ルモノデアルト云フコトハ、一般ニ考ヘテ居ル所デゴザイマス、政府ハ大抵ノ所デ世界的ノ不況ノ影響ダト云フコトノミヲ答ヘテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、ソレダケデハ國民ハ満足シナイノデゴザイマス、此問題ハ國民生活ニ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ル事デゴザイマスカラ、曖昧ニ此問題ヲ過シテハ私共野黨トシテ國民ニ相濟マヌ譯デゴザイマス、此問題ヲ出來ルダケハキリサセタイト云フコトガ、私ノ質問ノ目的デゴザイマス、ソレデ此不景氣ト重大ナル關係ニアリマスル貨幣價值増加ノ問題ニ付テ、勿論是ハ正確ナルハキリシタモノヲ答ヘルコトハ非常ニ困難ナ事デアリ、又恐ラク出來ナイデアラウト思ヒマスルガ、概數デ宜シウゴザイマスカラ、シッカリシタモノヲ握リタイト云フコトガ、私ノ御尋ラスル目的デアリマス、先日モ小川政務次官ト此問題ニ付テ色々論議ヲ致シマシタガ、未ダ私ノ質問ニ付テ御承認ヲ得ラレマセス、

ソレデ私モ民政黨ノ人々ノ言フコトヲ參酌シ、又サウ細カイ末々ノ數字ニ至ッテマデ自分ノ主張ヲ通サウト思フノデハアリマセヌカラ、概數デモ宜イ、シッカリシタモノヲ、握リタイト云フコトカラ、小川政務次官ノ御意見モ參酌シテ、私ノ主張スル所ヲ組立テ、來タ譯デアリマス、私ノ申シマス所ヲ御承認戴ケルカドウカ、大藏大臣ノ御意見ヲ後デ承リタイト思ヒマス、昭和四年七月二日濱口内閣成立當時ニ於ケル對米爲替相場ハ四十四弗八分ノ一デ、昭和五年一月十一日金解禁ノ日ニ於ケル對米爲替ハ四十九弗四分ノ一デアリマス、故ニ六箇月ト十一日間ニ日本ノ貨幣ノ對外價值ハ一割一分六厘増加シテ居ルコトニナルコトハ、小川政務次官ガ此間御話ニナツタ通りデ、此計算ヲ御承認下サルコトト思フノデアリマス、ソレデ先ヅ對米關係ヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、昭和四年六月カラ昭和五年末マデニ米國ノ物價指數ハ二十二「パーセント」低下致シテ居リマ

付託議案

特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案(政府提出)  
特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律案(政府提出)  
賠償金特別會計法廢止法律案(政府提出)  
昭和四年法律第二十六號中改正法律案(神戸商業大學移轉改築費ニ關スル件)(政府提出)  
京都高等工藝學校移轉改築費ニ充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案(政府提出)  
製鐵所特別會計法中改正法律案(政府提出)  
簡易生命保險特別會計法中改正法律案(政府提出)

ス、故ニ昭和四年七月ノ二日ニ、米國  
 デ四十四弗八分ノ一ニ賣レル品物ニ對  
 シテ、我國ニ於テハ百圓ノ金ガ受取レ  
 ル、是ハ理論上ノ研究デゴザイマスカ  
 ラ、事ヲ簡單ニスルガ爲ニ運送賃トカ、  
 金ノ輸送料トカ云フモノハ總テ省略ス  
 ルコトニ致シマス、米國ニ於テ物價指  
 數ガ二十二「パーセント」低下シテ居リ  
 マスルカラ、先ノ品物ハ昭和五年ノ末  
 ニハ三十四弗四十一仙ニテ買フ時ニ米  
 國人ニハ同ジ負擔ニ、ソレガ感ズルコ  
 トニナルト思フデアリマス、其三十  
 四弗四十一仙ヲ今日ノ爲替相場ニ換算  
 致シマスルト、六十九圓八十八錢トナ  
 リマス、即チ昭和四年七月ノ二日ニハ  
 百圓受取レタモノガ今日六十九圓八十  
 八錢受取ルコトニナテ、日本人ニ取ッ  
 テハ三割零分一厘ダケ物價ガ下落シタ  
 ト云フコトニナル、即チ今日之ヲ濱口  
 内閣成立當時ニ較ベマシテ、日本ノ品  
 物ヲ三割零分一厘ダケ下ゲテ之ヲ米國  
 ニ輸出スルナラバ、對米貿易ハ昭和四  
 年七月二日頃ノ舊態ヲ持續スルコトガ  
 出來ルノデアリマス、此三割零分一厘  
 ト云フモノハ申スマデモナク、吾々ガ  
 謂フ外國不況ノ影響ト金解禁ノ影響ト  
 ノ加ハッタモノデアリマス、其中デ金解  
 禁ノ影響ガ先申シマシタ一割一分六厘  
 デ、金解禁ノ影響ハ物價下落ノ、即チ  
 三割八分ニ當ル、三割零分一厘ニ對シ

テ金解禁ノ影響ガ一割一分六厘デゴザ  
 イマスカラ、三割八分ニ當ル、斯ウ私  
 ハ考ヘマスガ、先ヅ此事ヲ御承認下サ  
 イマスカ御意見ヲ承リタイト思ヒマス  
 ○井上國務大臣 私ハ松山君ニ御答ス  
 ル前ニ、私自身ノ考ノ根據ヲ簡單ニキ  
 メテ申上ゲテ置クコトガ宜シイト思ヒ  
 マスカラ、御許ヲ願ッテ申上ゲテ置キマ  
 スガ、爲替相場ガ其國ノ物價ニ響クノ  
 ハ二通りアリマス、爲替相場ガ一割下  
 レバ、必ズ一割物價ガ下ルモノハ、外國  
 カラ來ルモノハサウ變リマス、併ナガ  
 ラソレガ日本全體ノ物價ニドレダケ響  
 クカト云フコトハ、數字デハハッキリ致  
 シマセヌト同時ニ、是ハ時ニ依リマ  
 ス、時ガ掛リマス、隨テ私ガ自分ノ道  
 理ヲ申上ゲマス、七月二日ノ爲替相  
 場ガ假ニ一割何分下ッテ居ッタ、斯ウ致  
 シマシテモ其爲替相場ノ下ッタノハ、前  
 ノ年ノ昭和三年ノ十二月位カラ六分ハ  
 下ッテ居ルノデアリマス、隨テ昭和三年  
 十二月末ニハ一割二分下ッテ居ッタト雖  
 モ六分シカ下ッテ居ラスト云フ事情デ  
 アリマス、隨テ七月二日ノ爲替相場ガ  
 一割二分下ッテ居ルト云ヘバ、外國カラ  
 來ルモノハ、皆物ノ値段ガ違ッテ參リマ  
 ス、併ナガラ日本全體ノ物價ニハ、日本  
 ノ爲替相場ガドレ位ノ割合デ下ッテ居  
 タカト云フコトニ依ッテキマルノデア  
 リマス、サウ御承知ヲ願ッテ、今ノ問題

ニ御答シタイト考ヘマス  
 日本ノ爲替相場ノ下リマシタノハ、  
 大體申スト十一年カラ下ッタノガ主ニ  
 下ッテ居リマス、大正九年、十年、十一  
 年ト日本ニ恐慌ガ來マシテ、サウシテ  
 外國ニアル金ガ段々ナクナッテ來ル、輸  
 入ガ殖エルカラ、段々手許不如意ニナ  
 ルカラ、爲替ガ段々下ッテ、十二年ニナ  
 リマシテ、地震ノ爲ニ極端ニ下ッタノデ  
 アリマス、隨テ外國カラ來ルモノハ直  
 接ニ下ルガ、爲替相場ノ下リガ日本内  
 地ノ全體ノ物價ニドレ位響イテ居ルカ  
 ト云フコトハ、數字デハ中々困難デア  
 リマス、併ナガラ其年代ヲ通ジテ勘定  
 致シマス、吾々ハ大體日本ノ物價全  
 體ニ六分乃至七分位ハ響イテ居ルダラ  
 ウ、斯ウ考ヘテ居ルガ、是ハ數字的デ  
 ハアリマセヌケレドモ、マア大體學者  
 ナリ、或ハ此事柄ニ付テ深く趣味ヲ持ッ  
 テ研究シテ居ル人ガ斯ウ申シテ居ルノ  
 デアリマス、隨テソコデ爲替相場ガ一  
 割二分下ッテ居ッテモ、日本全體ノ物價  
 ニ付テハ六分シカ響イテ居ナイト云フ  
 コトヲキメテ掛ッテ置キタイノデアリ  
 マス、其數字的ノ根據ハ別ニシテサウ  
 考ヘテ居ルノデアリマス

テ宜イカ惡イカト云フト、私ハ正シク  
 ナイト思ヒマス、何故カナラバ物價ノ  
 下リ方ガ、亞米利加ニ於キマシテハ棉  
 トカ穀物ノヤウナモノハ極端ニ下ッテ  
 居ル、下ラヌモノモアリマス、ソレヲ平  
 均シテ二割二分下ルノデアリマス、棉ノ  
 如キモノハ殆ド五割モ下ッテ居リマス、  
 其ノ五割下ッテ亞米利加ノ棉ガ日本ニ  
 何億ト來ル、斯ウ申シマス、云フト、亞  
 米利加ノ物價ガ二割二分下ッテ其割合  
 ヨリモ、棉ガ日本ニ來ル爲ニ、日本ノ物  
 價ニ影響スル所ハ非常ニ大キイト斯ウ  
 考ヘルノガ當然ダラウト思ヒマス、ソレ  
 デ物價指數ガ二割二分下ッテカラ、世界  
 ノ影響ガ日本ニモ二割二分及ブ、斯ウ  
 御考ヘニナルコトハ、ソレハ實際ニ於テ  
 ハ非常ニ違ヒマスノデ、假ニ反對ニ日  
 本ニ來ナイモノガ亞米利加デ物價ガウ  
 シト下ッテ、日本ニ直接輸入スルモノガ  
 下リ方ガ少イト見マシタナラバ、ソレハ  
 私ハ世界ノ不景氣ガ多少アッテモ、輸入  
 品ノ爲ニ日本ノ物價ニ響クコトハ少イ  
 ト思ヒマス、併ナガラ只今申上ゲル如  
 ク、日本ニ最モ重要ナル輸入品ノ棉ガ五  
 割モ下ッテ居ルト見マシタナラバ、亞米  
 利加ノ二割二分ノ物價指數ノ下ッタコ  
 トヲ以テ、日本ニ二割二分ホカ世界ノ  
 物價下落ハ影響シテ居ラスト御覽ニナ  
 ルコトハ私ハ非常ナ誤デアラウト思ヒ  
 マス、隨テ只今御話ノ如ク、世界ノ不景

氣ガ日本ニ及ンダ、亞米利加ハ二割二分ホカ物價ガ下ッテ居ラヌノニ、ソレヨリ以上ニ日本ノ物價ハ下ッテ居ルデヤナイカ、斯ウ云フ御話ニナリマス、ト、私ハ其推論ニハ御賛成出來ナイノデアリマス

ソレカラ一番前ニ歸リマシテ、日本ノ今日ノ不景氣ハドウ云フ事デアルカ、斯ウ申サレマス、私ハ斯ウ何時モ申シテ居リマス、七月ノ二日カラ金ノ解禁ノ準備ヲシタ爲ニ、假ニ爲替相場ガ一割——是ハ取方デ非常ニ違ヒマス、吾々ガ金解禁ノ準備ヲスルコトヲ

發表シタノハ七月二日デハナイノデアリマス、其後デアリマスカラ、取方ニ依ッテ多少違ヒマスガ、例ヘバ一割一分六厘、松山君ノ舉ゲラレタマケノ爲替相場ガ假ニ下ッテ居ッタ致シマス、

サウ致シマス、七月カラ一月十一日マデ段々爲替相場ガ下ッテ居ッタ、ソレナラバ日本ノ物價ニドウ響イテ行ッタカト斯ウ申シマス、外國カラ輸入スルモノハ一割一分六厘正確ニ響イタト云フノガ理論デアリマス、併ナガラ日

本ノ物價ノ指數ハドレダケ下ッタカト申シマス、其時ハ八分何厘シカ下ッテ居リマセヌ、即チ外國カラ直接來ルモノハ一割一分六厘、松山君ノ例ニ依ルト下ッテ宜イ譯デアアルガ、併ナガラソレガ日本ノ全體ノ物價ニ影響スルノハ、

先刻私ガ申ス通り、ソレ程ハ影響シテ居ラヌノデアリマス、ソレデ日本ノ物價指數ハ八分何厘シカ下ッテ居リマセヌ、ソコデ先刻私ガ理論的ニ申上ゲタ實例ガ此處ニ出テ來テ居ルト申シテ宜カラウト思ヒマス、ソレナラバ八分何厘ト云フモノハ爲替相場ノ上リノ爲ニ來タ影響デアアル、ソレナラバ二割七分

今日ハ物價ガ下ッテ居ルガ、二割七分ノ中カラ八分ダケ引イタアトノモノガ全部世界ノ不景氣ノ影響デアアルカドウカハ、數字的ニハハッキリシナイノデア

ル、併ナガラ大部分ハ世界ノ不景氣ノ影響ト申シテ宜シイト私ハ何時モ申シテ居リマス、又今日モサウ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ脱ケテ居ル所ガアリマシタラ、重ネテ御質問ニ依ッテ御答申上ゲマス

○松山委員 今大藏大臣ノ御話ニナッテ、亞米利加ノ物價下落ガ日本ニドレダケ及ンデ居ルカト云フコトヲ御考ヘテ下サラスト非常ニ違ヒマス、或國ガアリマシテ、其處ノ物價ガドシナニ下ッテ居ッテモ、日本カラ物價ガ行カズ、其處

ナイヤウデアリマスカラ、私ノ議論ノ全體ヲ一度御話ヲ致シマスカラ、ソレレデ御判斷ヲ得タイト思ヒマス、ソレヲ言フ前ニ、今申シマシタヤウニ、米國ノ例ヲ御取リニナリマシタガ、私モソレハ同感デス、ハッキリト其數字ヲ摺メルモノデヤナイ、併ナガラ私共ハ成

ベク安全ナ方法ヲ執ッタ所ニ於テ、概數デ宜シイカラハッキリシタモノヲ握リタイ、即チ米國カラ來ルモノハ——多クハイッテ來ル棉花ノ如キモノハ五割モ下ッテ居ルノデアアルガ、ソレヲ一ツ取ッテハイケンイカラ、物價指數ヲ取ッテ、大體二割二分米國デ下ッテ居ルナラバ、此日本ノ對米貿易品ニ於テ大體ソレダケ下ルモノトシテ理論ヲ進メテ行キタイ、斯ウ云フ私ノ考デアリマ

ス ○井上國務大臣 其處ガ私ガ只今説明致シマシタ如ク、亞米利加ニ日本カラ出ルモノ、亞米利加カラ日本ニ來ルモノ、ソレト亞米利加全體ノ物價ノ指數ト云フコトハ、日本ノ物價或ハ通貨價値ノ上ルト云フコト、ハ非常ニ違ヒマス、ソレヲ二ツニ分ケテ御考ヘニナッ

テ、亞米利加ノ物價下落ガ日本ニドレダケ及ンデ居ルカト云フコトヲ御考ヘテ下サラスト非常ニ違ヒマス、或國ガアリマシテ、其處ノ物價ガドシナニ下ッテ居ッテモ、日本カラ物價ガ行カズ、其處

下サラスト非常ニ違ヒマス、或國ガアリマシテ、其處ノ物價ガドシナニ下ッテ居ッテモ、日本カラ物價ガ行カズ、其處

價下落ハ影響ガアリマセヌ、然ルニ其處ノ物價ガ同ジ下ッテモ、他ノ物ハ下ラズバ、其國ノ物價下落ト云フモノハ物價指數ヨリカウント影響致シマス、其處ニ非常ニ區別ガアリマスカラ、大體其

國ノ物價下落ノ程度ヲ取ッテ、日本ニ直接ソレガ影響ガアルトカナイトカ云ッテ數字的ニ御議論サレルコトハ、根本ニ於テ非常ニ違フト思ヒマス、其處ノ所ハハッキリ致シテ居ルダラウト考ヘテ居リマス

○松山委員 兎ニ角私ノ議論ノ全體ヲ話シテ、其上デ御判斷ヲ願ヒマス、サウシナイト部分ヲ捉ヘテ言フト、不必要ナ議論ヲ多クシナケレバナラヌコトニナリマスカラ……

次ニ私ノ考ヘタイノハ、對支關係デゴザイマス、是ハ日本ノ貿易ニ一番關係ノ多イノハ、米國ト支那トデゴザリマスルカラ、其意味ニ於テ對支關係ヲ私ハ次ニ考ヘタイト思ヒマス、昭和四年ノ六月カラ——是ハ一寸御斷リ致シテ置キマスルガ、私ノ議論ノ根據ヲ

政變當時ノ爲替相場ノ變動ノマダ起ラナカッタ、即チ六月ノ二十九日ト云フノデ、私ハ六月ト云フ數字ヲ多ク取ッテ居ルノデアリマスガ、小川政務次官ハ七月二日ニシロト云フコトデ、ソレデ

七月二日ニ改メタ關係上、統計ヲ一々改メテ調ベルト云フ暇ガアリマセヌノデ、殆ド變化ガアリマセヌカラ其六月ヲ取ッテ居リマスルカラ、サウ云フヤウナ統計ナシカ取ル上ニ付キマシテ、數ノ違ガアルコトハドウカ御承知ヲ願ヒマス、六月カラ今日マデノ間ニ我國ニ

於テハ貨幣ノ對外價值ガ一割一分六厘ト今計算シタノデアリマスガ、之ヲ增加シテ居ル、然ルニ支那ニ於テハ銀塊相場ガ二十四片カラ十三片ニ下落シタ、隨テ貨幣ノ對外價值ハ四割六分低下シテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、故ニ此期間我國ニ比較シテ總體的ニ支那ノ貨幣價值ハ四割八分四厘低下シテ居ルコトニナリマス、而シテ其内日本ノ舊平價ニ依ル金解禁ノ影響ハ一割一分六厘デアリマスルカラ、此全體ノ影響ニ對シテ金解禁ノ影響ハ二割四分ニ當ル、斯ウ私ハ見テ居ルノデアリマス、之ニ依ッテ昭和四年七月ノ貿易狀態ヲ持續スル爲ニ、我國ヨリ支那ニ對シテ送ルモノハ四割八分四厘ダケ物價ヲ下ゲテ支那ヘ輸出ヲスレバ、丁度濱口内閣成立當時ノ貿易狀態ヲ持續スルコトガ出來ルト云フコトハ、理論上サウナルト思フノデアリマス、或ハ支那ノ商品ハソレダケ安ク我國ニハイッテ來ル筈デアリマス、而シテ其内二割四分ダケハ、日本ノ金解禁ノ影響ヲ受ケテ居ルモノデアルト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、是ダケノコトヲ述ベテ置キマシテ、我國ノ貨幣ノ金解禁ニ依ル對外價值ノ變化ガ、物價低落ニ及ボス影響ヲ算定シタモノガ今申シマスルヤウニ、米國ニ對シテハ三割八分、支那ニ對シテハ二割四分ノ影響ヲ持ッテ居ルモノデアルト思フ、斯ウ云フコトヲ今計算シタノデアリマスガ、之ヲ元ト致シマシテ、次ニ私ノ話ヲ進メテ參リタイト思フノデアリマス

私ノ茲ニ算定ヲ致シタイト思ヒマスルコトハ、是カラ貨幣ノ對外價值ニ移ッテ來ルノデアリマス、今申シマスルノハ、私ノ話ヲスル目的デヤナカッタ、此對外價值ニ於テ——日本ノ貨幣ノ對内價值ニ於テ、我國ノ物價指數ハ昭和四年七月ニ二割七分五厘低落シテ居ル、而シテ此中對米貿易品ノ物價ハ、三割零分一厘ダケ低下シテ居ル筈デアリマス、對支貿易品ハ四割四分八厘低下シテ居ル道理デアル、是等ノ外、對外貿易品ハ物價低落ヲ見マスルケレドモ、純國內ノ商品——下駄トカ、漬物トカ云ッタヤウナ純國內ノ商品ハ、爲替相場ガ變化シタカラト云ウテ、直チニ低下スルモノデアリマセス、或ル期間中ニ漸次低落ヲ見ル筈デアリマス、ケレドモ、外國貿易品ノ如ク顯著ニ其低落ヲ示スモノデアリマセス、ソレガ爲ニ今申シマスルヤウニ外國貿易品ノ物ニ於テハ、其低下ガ或ハ對米貿易品ニ於テハ三割零分一厘、對支貿易品ニ於テハ四割四分八厘ト云フヤウナ數字ガアルニモ拘ラズ、日本ノ全平均ノ低落シタル物價指數ガ、先ニ申シマシタヤウニ、二割七分五厘ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此日本ノ物價指數ノ

低落ガ二割七分五厘ニ日本ノ通貨ノ價值ヲ引上ゲタ、即チ舊平價ニ依ル金解禁ヲヤッタ結果ガ、ドレダケ影響ヲシテ居ルカト云フコトヲ見ルノガ、私ノ今カラ御話ヲスル目的デアリマス、前ニ申シマシタヤウニ、此對米貿易品ノ低落ハ三割零分一厘デアリマシテ、其三割八分ハ金解禁ノ影響デアル、對支貿易品ノ低落ハ四割四分八厘デアッテ、其中二割四分ト云フモノハ金解禁ノ影響デアル、ソコデ此日本ノ貿易ニ一番關係ノ深い、對米對支ノ平均ニ、此貿易ノ量ト云フモノヲ乘ジテ出タ平均ヲ取ッテ見タイト思フノデアリマス、此貿易品ノ數字ハ少シ古イノデアリマスガ——私ノ手許ニ於テ調べ得タ數字ヲ此處ニ持ッテ來テ居ル、對支貿易——昭和三年度デス——輸出ガ四一・八九「パーセント」、輸入ガ二八・八「パーセント」デアリマス、對支貿易ハ輸出ガ一八・九二「パーセント」、輸入ガ一九・八八「パーセント」デス、ソコデ兩方ヲ合セマシテ、平均ヲ取りマシタル、對米貿易ハ平均三〇・一八「パーセント」對支貿易ガ一八・八「パーセント」ニナリマス、此三〇・一八「パーセント」ニ先ノ三割八分ヲ掛ケ、對支貿易ノ一四・八「パーセント」ト云フモノニ二割四分ヲ掛ケテ、ソレヲ加ヘタモノヲ此兩方ノ三〇・一八「パーセント」一

四・八「パーセント」ヲ加ヘタモノデ割ルト、三割四分ト云フモノガ出テ來マス、之ヲ大體ニ日本ノ外國貿易品ニ對スル金解禁ノ影響ト見タイト思フノデアリマス、勿論ハキリシタ外國貿易品總テノモノニ對スル金解禁ノ影響ト云フモノハ國々ニ依ッテ違フ、品物ニ依ッテ違フノデアリマスカラハキリシタ數字ハ得ラレマセスケレドモ、概念的ニ私共ハ其數字ヲ摺ミタイト思フノデアリマス、相當ニ根據ノアル數字ヲ摺ミタイト云フ意味ニ於テ、對支貿易ト對米貿易ニ對スル影響ノ平均ヲ以テ對外貿易品ニ對スル金解禁ノ影響ト見タイトデアリマス

私ノ御話シ致シタイト思ヒマスルコトハ、前ニ申シタ二割七分五厘ト云フ此日本ノ物價指數ノ低落、其モノ、中デ其モノニ對スル金解禁ノ影響、對外貿易品ニ對スル金解禁ノ影響ハ三割四分デアリマスカラ、此日本ノ物價ノ低落二割七分五厘ニ對シテ、ソレダケノ金解禁ノ影響ガ三割四分ダケ來ルモノト計算致シマス、九分四厘ト云フモノガ出テ參リマス、即チ二割七分五厘ノ中デ九分四厘ダケハ金解禁ノ影響デアアル、先程大藏大臣ハ大體六分七分ト見テ居ル、世間ノ一般ノ人ハ金解禁ノ影響ガ六分七分ト見テ居ルト云フ御話デスガ、私ノ計算ニ依リマスト九

分四厘ト云フモノガ其計算ノ結果出テ  
來ルノデアリマス、即チ二割七分五厘  
ノ中デ其中ノ九分四厘ト云フモノガ金  
解禁ノ影響デアル、斯ウ云フヤウニ見  
タイト思フノデアリマスガ、此私ノ計  
算ノ立テ方ニ付テ大藏大臣ノ御意見ガ  
アリマシタラバ伺ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 少シ私ニ理解シ兼ネ  
ル所ガアリマスガ、松山君ハ亞米利加  
ノ方ハ物價低落ノ指數ヲ御取リニナッ  
テ、恐ラクハ支那ノ方ハ物價低落ノ狀  
況ハ調査ガナイカラ御分リニナラヌデ  
アリマセウガ、銀ノ下落ヲ御取リニナ  
ル、其處ニ兩者ヲ對照サレル所ニ私ハ  
大ナル差ガアルト思ヒマス

假ニ申シマスルト、亞米利加ト日本  
ノ間ハ金ノ純金ノ價值ヲ一割ニシテ置  
イテ、ソレカラ物價低落ノ割合ヲ計ッ  
テ、日本ハ二割七分トカ、亞米利加ハ  
何割ト斯ウ見テ居ルノデアリマス、即  
チ貨幣價值ハ純金同量ノモノガ同價格  
ト見テ爲替ガ上ツタトカ下ツタトカ申シ  
テ居リマス、支那ノ方ハ今御説ノ如ク  
支那ノ銀貨ハ變動ノ常ナイモノデアリ  
マシテ、一種ノ物品デアリマス、隨テ  
日本ノ爲替相場ト支那ノ爲替相場トノ  
比較對照ハ直チニ物價ニハ關係致シマ  
セヌ、支那ノ銀貨ノ下落ガ支那ノ如何  
ナル物價ニ變動ヲ來シテ居ルカト云フ  
コトヲ御調ニナラズニ置イテ、サウシ

テ兩者ノ何割ヲ對照サレルコトハ、私  
ハソレハ亞米利加ト日本トヲ對照サレ  
ル割合トハ大變其處ニ違フテ來ルト考  
ヘテ居リマス

對支貿易ノ如キモノガ、日本ノ金解  
禁ガ何割、支那ノ銀ノ下リガ何割ト斯  
ウ云フヤウナコトハ議論トシテモ適要  
ガ仕憎イノデアリマスガ、現在ノ事情  
ト致シマシテモ、御承知ノ如ク支那ノ  
内亂ガドウトカ、或ハ何ガドウトカ、此  
關稅ノ協定ガドウトカト云フ、種々様  
様ノ事ガ其處ニハイッテ居リマシテ、餘  
程其對照ハ困難ダト私ハ考ヘテ居リマ  
ス、隨テ支那ト日本トノ間ノ貿易ノ結  
果ヲ、銀ガ幾ラ下ツタ、爲替相場ガ幾  
ラドウナツタカラ、ドウナルベキモノ  
ラドウナツタカラ、ドウナルベキモノ

ダ、斯ノ如キ實數ガ出テ來タラ、是ガ  
ドウト斯ウ云フコトハ私ハソレガ正シ  
イカドウカ餘程疑問ヲ持ッテ居リマス  
併シ亞米利加ノ方ニ於テ議論サレタ  
コトハ私ト多少ノ根柢ノ數字ハ違ヒマ  
スケレドモ、今御説ノヤウナコトデ宜  
シカラウト思ッテ居リマス

○松山委員 委員長ニ此事ヲ私ハ御願  
致シテ置キマス、只今私ノ方ノ理事ノ  
喜多君カラ成ベク質問ハ今日デ終ルヤ  
ウニ、斯ウ云フコトデ私モ成ベクサウ  
云フ風ニ致シタイト思ヒマス、併ナガ  
ラ今私共ノ論ジテ居ル事ハ極メテ大切  
ナ事デ、日本ノ國民生活上極メテ大切

ナ事デ、六千萬國民ガ等シク望ンデ居  
ル所デアリマス、故ニ是ハ知識ノ限り  
ヲ盡シテモ、ドウシテモ此問題ハ攻究  
シナケレバナラヌ問題デアリマス、故  
ニ私ハ此問題ガ明カニセラレナイ以上  
ハ、私ハ假令委員長ノ御求メデアリマ  
シテモ、私ノ方ノ理事ノ何デアッテモ、  
私ノ質問ハ打切ルコトハ出來ナイノデ  
アリマス、此事ヲ委員長ニ御斷リヲ致  
シテ置キマス

ソコデ井上大藏大臣ニ申上ゲマス、  
井上大藏大臣ノ御意見ニ對シテハ私ハ  
其考ニ少シモ矛盾シテ居ル所ハアリマ  
セヌ、デ亞米利加ノ物價指數ヲ直チニ  
對外的ノ即チ對目的ノ物價ノ變動デア  
ルト云フコトハ、ソレハ正當デナイト  
云フコトハ大藏大臣ノ御話ノ通りデア  
リマス、詳細ニ申シマスルナラバ、日  
本ニ來ル棉花トカ、機械トカ、鐵トカ、  
總ベテノ物ニ對シテ其低落ト其量トヲ  
掛ケタモノデ、決定スベキモノデアリ  
マススケレドモ、ソレハ政府デ以テ其委  
員ヲ拵ヘテ計算スレバ出來ヌコトハア  
リマスマイケレドモ、私トシテハソレ  
ハ容易ニ出來ナイ、故ニ私共ノ初メカ  
ラ申シマスマヤウニ概數ヲ握ル意味ニ於  
テ、大體亞米利加ノ物價指數ノ變化ト  
云フモノヲ對日貿易ノ其價格ノ變動、  
對外的ノ價格ノ變動ト見テ議論ヲ進メ  
タイト私ハ言フノデアリマス、ソレデ

亞米利加ノ場合ニ於テハ其物價指數ノ  
變化ヲ對日貿易ノ物價ノ變動ト看做シ  
テ、サウシテ物價低落ノ量ヲ定メテ、  
ソレニ對スル日本ノ舊平價解禁ノ影響  
ヲ調べヤウ、ソレカラ支那ノ方ハ大藏  
大臣ガ言ハレル通りニ物價指數ヲ知ル  
ト云フコトハ困難デアリマスルカラ、  
其銀塊相場ノ變動ニ依ッテ、即チ支那ノ  
貨幣價值ノ低落ノ狀況ヲ調べテ、ソレ  
ニ對スル日本ノ金解禁ノ影響ヲ加ヘテ  
行クナラバ、一方ハ物價デアリ、一方  
ハ貨幣價值デアリマススケレドモ、其影  
響ト云フコトハ同ジコトデアリマス

私ノ知ラントスル目的ハ、此米國ノ  
物價、對米貿易ニ於ケル物價下落ニ、  
日本ノ金解禁ガドレダケノ影響ヲシテ  
居ルカ、支那ニ對スル此貨幣ノ——支  
那ト日本トノ間ノ相對的ノ貨幣價值ノ  
變動ニ、日本ノ金解禁ノ影響ガドレダ  
ケ及ンデ居ルカト云フコトヲ見マスレ  
バ、一方ハ物價デアリ、一方ハ貨幣價  
値デアリマススケレドモ、此對外的ノ  
意味ニ於テハ、ソレハ私ハ日本ノ對外  
的ノ物價ノ變動ニドウ影響シテ居ルト  
言フノデヤナイノデス、對外的ノ物價、  
或ハ價值ニ對スル日本ノ金解禁ノ影響  
ヲ調べルナラバ、別ニ私共ノ研究ノ目  
的ニハ、性質ハ違ヒマススケレドモ、其  
影響ト云フモノニ於テハ差支ハナイト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシ

テ其對外的ノ日本ノ金解禁ノ影響ヲ算定シテ、ソレヲ移シテ日本ノ此對外的ノ物價ノ變動、即チ二割七分ノ低落ト云フモノニ金解禁ノ影響ガドレダケ及ンデ居ルカト云フコトヲ算定シタイ、是ガ私ノ議論ヲ進メル路デアリマスルカラ、今大藏大臣ノ申サレタコトニ付テハ、私ハ能ク其事ハ分ッテ居リマサルケレドモ、私ノ此研究ノ仕方ハ敢テ差支ハナイ、理論上差支ハナイモノト私ハ考ヘルノデアリマス

若シ大藏大臣ガ其程度ニ於テハ色々御意見モゴザイマセウ、又其數字ノ細カイ所ニ於テハ、ソレガ正確デアルトカ何ト云フ點ハゴザイマセウケレドモ、大體ノ概數ヲ握ッテ、此私共ノ概念ヲ造ル上ニ於テ九分四厘——日本ノ金解禁ガ、物價ノ低落二割七分五厘ト云フモノニ及ボス影響ガ、サウ云フ其九分四厘、即チ三割四分ニ當ルモノダト云フコトヲ御承認下サリマスナラバ、此議論ハ是デ打切ッテ、次ノ質問ニ移リタイト思フノデアリマス、勿論是ハ概數デアリシノデアリマス、概念デアリマス

○井上國務大臣 御承知ノ如ク二割七分五厘ノ物價ガドウシテ出來テ居ルカト申シマス、輸出品ノ價格ガ下ッテ、其下ッタコトハ爲替相場デナシニ、向フニ今マデ十ノモノガ行キ居ッタガ、五ホカ行カナクナッタ、所謂向フノ輸出先ガ不景氣ノ爲ニ物ヲ半分ホカ買ハナクナッタ時ハ、其買フ半分ハ同價格デアリマシテモ、日本デ半分ホカ物ガ賣レナクナルト、日本内地デハ其物價ハ下リマス、ソレカラ二割七分五厘下ッテ居ルト云フ今日ノ事情ハ、成程爲替ガ元ニ回復シタ爲ニ、昨年ノ一月十一日ニハ八分何厘爲替相場ガ戻ッテ、隨テ輸出品ニモ輸入品ニモソレダケノモノガ影響シタ、併ナガラ段々其經過ヲ考ヘテ見マス、爲替相場ハ動カナイガ、亞米利加ニ出ス生絲ハ一遍五百圓ニ下ッタモノガ、今ハ二百圓モ上ッテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、爲替相場トハ何モ關係ナシニ日本ノ生絲ハソレ程上ッテ居ル、サウ云フコトハ此二割七分ノ物價ノ中ニハ歴然ト響イテ居ルノデアリマス、隨テ私不明ニシテ松山君ノヤウナ探算ヲヤラレルコトガ果シテ道理ノ上デ正シイヤラ正シクナイヤラ、茲ニ御賛成申上ゲテ宜シウゴザイマセウト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來ヌノデアリマスガ、併シハ常ニ金解禁ノ爲ニ一月十一日マデニ物價ガ八分何厘下ッテ居ル、其上ニドレ位影響ガアルカ分ラヌト、斯ウ申シテ居リマスガ、今松山君ノ出サレタ所ヲ見ルト金解禁ノ爲ニ九分四厘影響シテ居ル、アト一割六分ハ世界不景氣カ何カ外ノ影響ダト言ハレルガ、其數字其モノハ私ガ今マデ申シテ置イタノニ對シテ違ヒマセヌケレドモ、之ヲ出サレタ方法ガ善イカ悪イカハ私判斷ニ苦ンデ居ルノデアリマス

○松山委員 私ハ井上大藏大臣トハ今日反對黨ノ立場ニアリマスカラ論難攻撃ト云フコトニ自然私ノ言フコトガ行クノデアリマスケレドモ、併シ私自身ト致シマシテハ、此問題ニ付テ本當ノ事ヲ知りタイノデス、研究者デス、ダカラ假令反對黨ノ人ト雖モ其人ノ言フコトガ正シケレバ私ハソレヲ信ジタイノデス、此問題ハ政黨ノ論難攻撃ノ具ニ供スルニハ餘リニ嚴肅ナ問題デアルト思ヒマス、又胡麻化スコトヲ許サヌト問題デアリマス、私ハ其態度デ此問題ニ付テ今日マデ研究ヲ致シテ來テ居ルノデアリマスガ、其意味ニ於テ井上大藏大臣ノ御話ヲ承ッテ、別ニ私ノ考ヲ改メル必要ハ認メナイノデアリマスケレドモ、此問題ヲ此處デ論議シテヤカマシク言ッテ居ッテモ、私共今日ノ問題ハ賠償特別會計ノ廢止ヲ適當トスルカシナイカト云フコトヲ問題ト致シテ居リマスノデ、私ノ議論ヲ進メテ行カナケレバナリマセヌ故ニ、私ハ假令井上大藏大臣ガ六七分ナラバ認メル、併シ君ノ九分四厘影響シテ居ルト云フコトハ、十分認メ兼ルト云フ御意見デアリマス

ルナラバ、ソレハサウト致シマシテ、併シ私ハ茲ニ適當ナ複雑ナ數字ノ計算ヲ九分四厘ノ勘定ニ致シテ居リマスカラ、ソレヲ六七分ナラバ認メルケレドモ九分四厘ナラバ認メラレスト云フナラバ、サウ云フ風ニ修正シテ戴イテモ宜シウゴザイマスガ、今私ハ此處デ計算ヲ改メル時間ガアリマセヌカラ、九分四厘影響スルモノトシテ私ノ議論ヲ進メテ見タイト思ヒマス、ドウカ其意味ニ於テ御聽ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソコデサウナルト次ニ私ノ御尋致シタイ事ハ、是ハ貸借關係ニ及ボス影響デゴザイマス、デ物價指數ハ二割七分五厘下ッタンダ、其中九分四厘ハ金解禁ノ影響ダト斯ウ云フコトニナリマスルナラバ、日本ノ貨幣ノ購買力ガ即チ二割七分五厘ダケ上ル、九分四厘ダケ上ル譯デアリマス、即チ日本ノ貨幣價值ガ——對外的ノ價值ガ全體トシテハ二割七分五厘、金解禁ノ影響トシテハ九分四厘ダケ上ルコトニナル譯デアリマス、サウ致シマスルト茲ニ貸借關係ニ對シテ同ジ金額ヲ借リテ居ッテモ、借手ハ全體トシテハ二割七分五厘ダケ損失ヲ被リマス、金解禁ノ影響トシテハ九分四厘ダケノ影響ヲ被ル、借手ハ損失ヲスル、貸手ハ全體トシテ二割七分五厘ノ利得ヲ受ケル、金解禁ノ影響トシテ九分四厘ダケノ利得ヲ受ケルト云フ

テ其對外的ノ日本ノ金解禁ノ影響ヲ算定シテ、ソレヲ移シテ日本ノ此對外的ノ物價ノ變動、即チ二割七分ノ低落ト云フモノニ金解禁ノ影響ガドレダケ及ンデ居ルカト云フコトヲ算定シタイ、是ガ私ノ議論ヲ進メル路デアリマスルカラ、今大藏大臣ノ申サレタコトニ付テハ、私ハ能ク其事ハ分ッテ居リマサルケレドモ、私ノ此研究ノ仕方ハ敢テ差支ハナイ、理論上差支ハナイモノト私ハ考ヘルノデアリマス

若シ大藏大臣ガ其程度ニ於テハ色々御意見モゴザイマセウ、又其數字ノ細カイ所ニ於テハ、ソレガ正確デアルトカ何ト云フ點ハゴザイマセウケレドモ、大體ノ概數ヲ握ッテ、此私共ノ概念ヲ造ル上ニ於テ九分四厘——日本ノ金解禁ガ、物價ノ低落二割七分五厘ト云フモノニ及ボス影響ガ、サウ云フ其九分四厘、即チ三割四分ニ當ルモノダト云フコトヲ御承認下サリマスナラバ、此議論ハ是デ打切ッテ、次ノ質問ニ移リタイト思フノデアリマス、勿論是ハ概數デアリシノデアリマス、概念デアリマス

○井上國務大臣 御承知ノ如ク二割七分五厘ノ物價ガドウシテ出來テ居ルカト申シマス、輸出品ノ價格ガ下ッテ、其下ッタコトハ爲替相場デナシニ、向フニ今マデ十ノモノガ行キ居ッタガ、五ホカ行カナクナッタ、所謂向フノ輸出先ガ不景氣ノ爲ニ物ヲ半分ホカ買ハナクナッタ時ハ、其買フ半分ハ同價格デアリマシテモ、日本デ半分ホカ物ガ賣レナクナルト、日本内地デハ其物價ハ下リマス、ソレカラ二割七分五厘下ッテ居ルト云フ今日ノ事情ハ、成程爲替ガ元ニ回復シタ爲ニ、昨年ノ一月十一日ニハ八分何厘爲替相場ガ戻ッテ、隨テ輸出品ニモ輸入品ニモソレダケノモノガ影響シタ、併ナガラ段々其經過ヲ考ヘテ見マス、爲替相場ハ動カナイガ、亞米利加ニ出ス生絲ハ一遍五百圓ニ下ッタモノガ、今ハ二百圓モ上ッテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、爲替相場トハ何モ關係ナシニ日本ノ生絲ハソレ程上ッテ居ル、サウ云フコトハ此二割七分ノ物價ノ中ニハ歴然ト響イテ居ルノデアリマス、隨テ私不明ニシテ松山君ノヤウナ探算ヲヤラレルコトガ果シテ道理ノ上デ正シイヤラ正シクナイヤラ、茲ニ御賛成申上ゲテ宜シウゴザイマセウト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來ヌノデアリマスガ、併シハ常ニ金解禁ノ爲ニ一月十一日マデニ物價ガ八分何厘下ッテ居ル、其上ニドレ位影響ガアルカ分ラヌト、斯ウ申シテ居リマスガ、今松山君ノ出サレタ所ヲ見ルト金解禁ノ爲ニ九分四厘影響シテ居ル、アト一割六分ハ世界不景氣カ何カ外ノ影響ダト言ハレルガ、其數字其モノハ私ガ今マデ申シテ置イタノニ對シテ違ヒマセヌケレドモ、之ヲ出サレタ方法ガ善イカ悪イカハ私判斷ニ苦ンデ居ルノデアリマス

ルナラバ、ソレハサウト致シマシテ、併シ私ハ茲ニ適當ナ複雑ナ數字ノ計算ヲ九分四厘ノ勘定ニ致シテ居リマスカラ、ソレヲ六七分ナラバ認メルケレドモ九分四厘ナラバ認メラレスト云フナラバ、サウ云フ風ニ修正シテ戴イテモ宜シウゴザイマスガ、今私ハ此處デ計算ヲ改メル時間ガアリマセヌカラ、九分四厘影響スルモノトシテ私ノ議論ヲ進メテ見タイト思ヒマス、ドウカ其意味ニ於テ御聽ヲ願ヒタイト思ヒマス



コト、是ハ勿論御認ニナルト思フノデアリマスルケレドモ、其根本ガグラツキマス、今後ノ議論ヲ進メテ行キマス上ニ混亂致シマスカラ、ソレヲ御承認ニナルカドウカ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○井上國務大臣 割合ハ別ト致シマシテ、貨幣價值ガ對外的ニ上ルト、斯ウ云フコトハ確デアリマス、隨テ其結論トシテ只今ノヤウナ結果ヲ生ズルコトモ確デアリマス

○松山委員 先日政府カラ頂戴致シマシタ調査ノ中デ、昭和四年六月末ノ銀行預金ガ百二十億六千七百萬圓、銀行ノ社債ガ二十億一千四百萬圓、會社ノ社債二十二億九千六百萬圓、公債ノ中金解禁ニ影響ナイ外債ヲ引キマシタ國內債ダケガ四十四億一千萬圓、地方公債二十億五千萬圓、以上ヲ合計致シマシテ二百二十八億三千八百萬圓トナリマシテ、即チ銀行ノ預金、銀行會社ノ社債、公債、地方債ノ債權ノ所有者ヲ含ム所ノモノヲ、私ハ之ヲ總稱シテ貨幣資本家ト云フ言葉ヲ使ヒタシ、金持、貨幣資本家ハ二百二十八億三千八百萬圓ト云フ債權ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、私ハ此外ニ個人關係ノ貸借ノ金額ヲ知リタイノデアリマシガ、是ハ此間書イテ差上ゲタト思ヒマシガ、ソレハ頂戴シタ中ニアリマセス

デシタカラ、今申シマスルダケノ所デ質問致シマセウ、貨幣資本家ハ今申シマスル通り二百二十八億三千八百萬圓ト云フ債權ヲ持ッテ居ル、ソレデ貨幣價值ガ總體トシテ二割七分五厘對外的ニ上ツタ結果、債權者タル貨幣資本家ハ六十二億八千萬圓ダケ利得ヲ受ケタコトニナリマス、ソレカラ金解禁ノ影響トシテ九分四厘ダケ債權者ハ利得ヲ得タ譯デアリマスカラ、其利得ダゲ計算致シマスルト、二十一億四千六百萬圓ノ利得ヲ受ケタコトニナル譯デゴザイマス、借リタ側ノ方ヲ申上ゲマスルト、銀行ノ貸出金ガ百十三億四千萬圓デアリマス、會社ノ社債ガ二十二億九千六百萬圓、計百三十六億三千六百萬圓トナル、之ヲ私ハ大體今日ノ日本ノ産業界ノ總借金デアルト見タノデアリマス、之ニ付テ細カク色々御意見ガ出マスレバ私ノ意見モ申上ゲマス、併シ大體ノ大綱ミデ宜シイノデス、私共ノ研究ハ……ソコデ百三十六億三千六百萬圓ノ借金ガアル、ソレニ對シテ今申シマスル率ヲ掛ケマスルト、全體トシテハ三十七億四千九百萬圓ダケ損失ヲ受ケタ譯デアリマス、産業界ガソレダケノ損失ヲ受ケタ譯デアリマス、金解禁ノ影響トシテ十二億八千萬圓ノ損失ヲ受ケタコトニナリマス

ガ、産業界ノ受ケタル損失ト云フモノハ勿論ソレニハ小サイモノモアル、大キイモノモアリマスガ、大小ノ事業家ノ受ケタル損失ト大體之ヲ見ル、事業資本家ト貨幣資本家ト云フモノガ茲ニ勢力ノ均衡ヲ保ッテ居ルト致シマシテ、濱口内閣成立以來、全體トシテ事業資本家側ハ三十七億四千九百萬圓ダケ今申シタ通り損失ヲ受ケタ、貨幣資本家側ハ六十二億八千萬圓ダケノ利得ヲ占メタ、即チ兩者ノ間ニハ之ヲ合セマシタ百億二千九百萬圓ダケノ勢力ノ差ガ生ジテ來タノデアリマス、又金解禁ノ影響カラ申シマス、事業資本家側ハ十二億八千萬圓ノ損失ヲ受ケタノデアリマス、貨幣資本家側ハ二十一億四千六百萬圓ノ利得ヲ占メタコトニナリマスカラ、結局之ヲ合セタ三十四億二千七百萬圓ノ勢力ノ差ヲ生ジテ來タノデアリマス、即チ全體ト致シマシテ事ノ影響ト致シマシテ三十四億二千七百萬圓ノ勢力ノ差ヲ生ジテ來タノデアリマス、貨幣資本家ノ方ハ得ヲシテ事業資本家ノ方ハ損ヲシタノデアリマシカス、事業資本家側ガ貨幣資本家側カラ壓迫サレルト云フコトハ當然デアリマス、即チ今日政府ガ申シテ居リマス事業整理ト云フコトハ、此濱口内閣成立

以來ノ貨幣價值騰貴ノ爲ニ、其中ノ三割四分ト云フモノハ金解禁政策ノ結果、舊平價ニ依ル金解禁ヲ爲シタ結果、貨幣資本家ト事業資本家ノ間ニ勢力ノ差ヲ生ジ、其ノ均衡ヲ失ッテ、事業資本家ガ貨幣資本家ノ爲ニ産業界カラ追出サレル、壓迫サレテ押出サレル、所謂事業整理ナルモノハ、此事業資本家ヲ追出シテ産業界ノ經營權ノ大部分ヲ擧ゲテ、之ヲ貨幣資本家ニ取ラセルト云フ所ノ現象デアルト思フノデアリマス

政府ハ事業界ノ整理ト云フコトヲ能ク言ハレマスガ、ソレハ此金解禁ノ結果ニ三十四億二千七百萬圓ノ勢力ノ差ヲ事業資本家ト貨幣資本家トノ間ニ起サセテ、事業資本家ヲ此産業界カラ驅逐スル、サウシテ此事業ノ經營權ヲ擧ゲテ貨幣資本家ノ手ニ歸セシムルト云フコトガ、即チ事業整理ノ内容デアリマスガ、之ニ對シテ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 松山君ノ今言ハレタ事實ハ其通りデアリマセウガ、松山サント私ガ根本ノ一ツノ御話ヲシテ見マシト、簡單ニ歴史ヲ申シマス、大正九年ニハ爲替相場ガ少シモ下ッテ居リマセズ、ノミナラズ大正七年ニハ爲替相場ハ五十二弗八分ノ一マデ行ッタコトガアリマシテ、日本ノ爲替相場ハ亞

業整理ト云フコトハ、此濱口内閣成立

<p>米利加ノ金ニ對シテ五分以上ノ騰貴ヲシテ居リマス、其時ニハドウカト云ヘバ、只今アナタノ言ハレタト反對ノ現象ヲ生ジテ居リマス、今日債務者ガソレダケノ不利益ヲ蒙ッテ居ルナラバ、丁度大正四年カラ大正七八年九年マデハ同ジク利益ヲ得テ居ルノデアリマス、一方ニ利益ヲ得タコトガ、今度アナタノ言フガ如ク債務者ト債權者ノ間ニ不利益ニナル、ソレナラ日本ノ根本ノ建方ハドウカト云ヘバ金二匁ガ十圓ト斯ウ定メテ居リマシテ、所謂十圓ノ金ハ二匁デアアル、ソレハ世界何處ニ行ッテモ二匁十圓デアアル、斯ウ云フ立テ方デアルノデアリマス、ソレガ下ッテモ上ッテモ常ニ債權債務ニハソレト同ジク影響ヲ與ヘルノデアリマス、ソレナラ爲替相場ガ下ッテ居ルト云フノハドウ云フコトデアアルカト云ヘバ、紙幣デ云ヘバ、例ヘバ二匁ノ金ヲ十一圓何十錢出サナケレバ買ヘナクナッテ居ルト斯ウ云フコト、同ジ事デアリマス、其處ヲ考ヘマスト、日本ノ貨幣法デハ二匁十圓デ上リモ下リモセズ、斯ウ云フコトヲ豫期シテ居ルカラニハ債權債務ト云フモノハ永久ニ損得ハナイノデアリマス、然ルニソレガ時ニ依ッテ爲替相場ガ上ッタリ下ッタリスレバ、ソレガ債權債務者ニ常ニ影響致シマス</p>	<p>十二弗八分ノ一ニ上ッタ時代ノコトヲ考ヘマスト、大正三年ノ暮カ四年位カラ日本ノ通貨ト云フモノハドウカト云ヘバ三倍以上ニナッテ居リマス、百圓ノモノガ二百七十何圓ト云フ所マデ物價指數カラ行クト上ッテ居リマス、其時ノアナタガ今示サレタ債權者債務者ノ關係デ御覽ニナリマストドウカト云フサナケレバ買ヘナクナッタ、日本ノ内地ニ於テ日本ノ貨幣價值ト云フモノハソレ程下ッタ、其時ノ債權債務者ヲ考ヘテ、サウシテ今日ノ債權債務者ノコトヲ考ヘテ見タラバ、所謂元ニ復ッタト云フコトデアリマス、二匁十圓ト云フ日本ノ貨幣價值ノ要求スル、即チ靜止シタ状態ニ變ッタノデアッテ、大正三年カラ今日マデハ或ル場合ハ債權者ニ非常ニ利益デアッタ、或ル場合ニハ債務者ニ非常ニ利益デアッタ、斯ウ云フ事態ガアッタカラコソ日本ノ經濟界ト云フモノハ變動常ナク、是デハイカヌカラシテ、二匁十圓ノ動カヌ所マデ持ッテ來ヨウト云フノガ金解禁ノ主タル目的デアリマス、アナタノ言ハレルノハ</p>	<p>サウ云フ影響ガ來ルカモ知レヌガ、其影響ハ反對ニ、元ニハチャント反對ノ現象ガ以前ニ出テ居ルノデアリマス、所謂元ニ復ッタト云フコトニナリマスアナタガ假ニ大正三年ニ千圓ノ金ヲ持ッテ居ラレル、サウシテ物價指數ガ二百七十幾ツマデ行ッタ時ハ、其時ニアナタガ持ッテ居ラレル千圓ノ金ノ價值ト云フモノハ殆ド三分ノ一二下ッテ居リマス、併ナガラ段々今度ハ物價ノ方ガ下ッテ來ルト、アナタノ持ッテ居ラレル千圓ノ價值ガ段々出テ來テ、今日ハ本當ニ千圓ト云フモノ、値打ニナル譯デス、サウ云フコトノ經過ハ中途ニアリマスガ、ソレハ宜シクナイ、千圓ガ三百圓ノ價值ホカナクナッタ、或ハ千圓ノ價值ニナッタト云フヤウナコトガ、日本ノ經濟界ニ惡イカラ、金ノ解禁ヲシテ行カウ、即チ千圓ノ價值ガ千圓ニナルヤウニシテ行カウ、サウシテ動カナイヤウニシテ行カウト云フノガ、日本ノ貨幣法ノ要求シテ居ル所、金解禁ノ主タル目的デアリマス、隨テ今舉ゲラレタヤウナ或ル何年何月ノ數字ヲ取ッテ、ソレダケヲ出シテ茲ニ御議論サレテモ、ソレハ一向私ハ何モ參考ニナラヌト斯ウ考ヘテ居リマス、即チ今日債權者ガ非常ニ得ヲシタト云フナラバ、債權者ノ損ヲシタ時代ガ丁度同ジ數字デアアルノデアリマス、サウ云フコトヲ御答致シ</p>	<p>テ置キタウゴザイマス</p> <p>○松山委員 サウナッテ來ルト金解禁ノ根本理論ノ論争ニナルノデゴザイマスカラ已ムヲ得マセズ、サウスルト大正六年九月ノ金輸出禁止ヲヤッタ當時ノコトニ遡ッテ來ナケレバナラスト思フノデアリマス、此時ニ金輸出禁止ヲヤルト云フコトハ、即チ貨幣法ノ一時ノ適用停止デアアル、是ハ非常ニ重大ナル問題デアリマスケレドモ、世界戰爭ノ影響デ先ヅ已ムヲ得ナイ事デアルト思ヒマス、其時ニ於テ既ニ一時金本位ノ停止ヲヤッタ以上ハ、其結果物價ガ上ッタリ下ッタリスルコトガアリ、又爲替相場ノ變動スルコトガアルトシテモソレハ已ムヲ得ナイ事デアアルガ、茲ニ爲替相場ヲ安定サセル、即チ金解禁ヲヤルト云フ時ニ當ッテ、政府ニ責任ガ生ジテ來ル、ソレマデノ間ニ誰ガ内閣ヲ取ッテ居ラウガ、爲替相場ニ如何ニ變動ガアリ、貨幣價值ニ如何ニ變動アラウトモ是ハ已ムヲ得ナイ、金解禁ヲヤッテ貨幣價值ヲ安定サセルト云フコトヲ濱口内閣ガヤッタノデアアルカラ茲ニ責任ヲ生ズル</p>
<p>モウ一ツノ例ヲ申シマスト、丁度五</p>	<p>現象ガ出テ居リマス、サウ云フコトヲ御考ヘニナリマスト、只今舉ゲタ事ハ</p>	<p>ソレカラ井上大藏大臣ハ何處マデモ貨幣法ニ規定シテアル金二匁十圓ト云フモノヲ、國民ハ期待シテ居ルト申サレマスガ、事實金二匁十圓ト云フ關係ハ金輸出禁止中ハ壞レテ居ッタノデア</p>	<p>ハ金輸出禁止中ハ壞レテ居ッタノデア</p>



リマス、是ハ此間モ此處デ申上ゲタノ  
デアルガ、井上大藏大臣ハ居ラレマセ  
スデシタカラ、モウ一度申上ゲル必要  
ガアルト思フガ、金輸出禁止中横濱正  
金銀行デ金ヲ賣ッテ居ッタ、初メハ貨幣  
法ニ規定シテ居ル通り一匁五圓デ賣ッ  
テ居ッタガ、通貨ノ價值ガ下ルニ隨ッテ  
一匁五圓デ買フト儲カルカラ、平年ナ  
ラバ齒醫者トカ或ハ其他金工業ノ材料  
トシテ金ノ地金ヲ潰シタモノガ二千萬  
圓位デアッタケレドモ、三千萬圓ニ急ニ  
増加シタ、ソレニ驚イテ一匁五圓ト云  
フ貨幣法ニ規定シテ居ルモノヲ廢メ  
テ、爲替相場ニ準據シテ賣ルコトニナッ  
タ、ソレガ爲ニ一匁六圓五十錢マデ上ッ  
タコトハ井上大藏大臣能ク御承知ノコ  
ト、思ヒマス、斯ウ云フ意味ニ於テ貨  
幣法ニハ二分ガ一圓デアルト規定シテ  
アルガ、其事ハ壞レテ居ルノデアリマ  
ス

ソレデ私ハ議論ノ根據トシテ、十二  
年何箇月間ノ金輸出禁止中ハ爲替相場  
ガ變動シテ平均シタ價ガ分ラナイ、何  
故ナラバ其時ニ於ケル貸借關係ヲ總テ  
調べナケレバ分ラヌノデアリマスカ  
ラ、茲ニ私共ハ濱口内閣ノ成立ノ日ト、  
昨年ノ一月十一日ノ金解禁ノ日ヲ以テ  
比較研究ヲ致スコトニスルト、此間モ  
斷ッテ置イタノデアリマス、今申シマス  
ヤウニ私共ノ考ヘル所デハ既ニ金二分  
ガ一圓デアルト云フ關係ガ一時停止セ  
ラレテシマッタノデアリ、其間ニ賣買  
貸借ガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、  
濱口内閣ガ成立ノ時ニ世間ハ金解禁ヲ  
ヤルト云フコトヲ期待シタノデアリマ  
スカラ、其當時ニ於ケル貨幣價值ト云  
フモノヲ取ッテ來テ、日本ノ圓ノ價值ヲ  
變更スルノガ一ツノ方法デアラウト思  
ヒマス

又私共ガ非常ニ重大ナ事ト考ヘテ居  
リマスノハ、日本ニ最モ密接ナル關係  
ノアル支那ノ貿易關係デアリマス、是  
ハ米國トノ貿易ニ比較シマスト少イケ  
レドモ、吾々ガ洵ニ懼レナケレバナラ  
ヌコトハ生絲ノ關係デアリマス、生絲  
ノ昭和五年度ニ於ケル月別表ヲ見ル  
ト、二三月頃カラ日本生絲ノ米國ニ對  
スル輸出ガ激減シテ、支那ノ米國ニ對  
スル生絲ノ輸出ガ激増シテ居リマス、  
是ハ貨幣價值ノ變化ノ影響ガ著シク現  
レテ來テ居ルモノト私共ハ見テ居ル、  
ソレガ六七月頃ガ一番甚シイコトニ  
ナッテ居ル、所ガ是ガ政府ノ非常ニ樂觀  
シテ居ラレル所デアアルガ、年末ニナッテ  
生絲ノ輸出ガ非常ニ進ンダ、而シテ支  
那ノ輸出ガ少クナッタ、ソレガ爲ニ國際  
貸借ノ關係ガ非常ニ都合好クナッタコ  
トハ、誠ニ喜ブベキデアリマスガ、私  
共貿易上ノ波ノ打方ヲ見マスト、斯様  
ニ觀察シテ居ル、二三月頃カラ六七月  
頃マデハ日本ノ生絲ガ支那ノ物ニ壓迫  
サレテ居ッタガ、支那ノ生絲ガ無クナッ  
テ賣レナクナッタカラ、日本ハソレニ乘  
ジテ急ニ生絲ヲ賣進ンダ、ソレデ日本  
ノ生絲ハ一年ヲ通ジテノ量ハ割合ニ  
減ッテ居ラズ、支那モ大體同様デア  
ルガ、日本ハ平均ヨリ上ニナリ、支那ハ  
下ニナッタ、ソレデ年末ニ於ケル日本  
ノ輸出入ノ貿易關係ハ好イコトニナ  
テ居リマスケレドモ、支那カラ申セバ  
今後好イ値デ亞米利加ニ生絲ガ賣レ  
コトガ分ッテ來ルト、今後ニ於テハ支那  
人ハ生絲ヲ非常ニ多ク造出スコトニナ  
ル、サウスルト日本ノ生絲ガ壓迫サレ  
ル、聞ク所ニ依ルト米國ノ商人ハ斯ウ  
云フコトヲ見越シテ支那ノ生絲生産ヲ  
増加スル爲ニ資本ヲ注込シテ居ルト云  
フコトデアアル、斯ウ云フ事ニナレバ、  
今後數年ノ間ニ日本ハ支那ノ生絲カラ  
非常ナ力デ壓迫サレルコトニナルノデ  
ハナイカト見テ居ル、又紡績ノ關係デ  
アリマスガ、支那ノ紡績ガ大阪ニ來テ  
居ルガ、是ガ支那ノ貨幣價值ノ低下、  
又日本ノ貨幣價值ノ上騰ト關係ガアル  
コトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、  
是等支那ノ競争力ハ對支貿易ノミナラ  
ズ、對米貿易ノ上ニモ重大ナル關係ガ  
アルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、而シ  
テ銀相場ノ恢復ガ中々見込ガナイト云  
フコトナラバ、日本産業百年ノ大計ヲ

考ヘル時ニ、貨幣價值ノ決定ニ於テ大  
ニ考ヘナケレバナラヌ  
又是ハ色々異論モアリマセウガ、瑞  
典ノ「カッセル」ノ意見ニ依ッテモ、世界  
ノ生産物ノ増加ト金産額ノ増加トハ伴  
ハナイ、故ニ金ノ價值ハ漸次騰貴ヲシ  
テ行ク傾向ニアル、即チ物價ガ低落ノ  
傾向ニアルト申シテ居ルガ、彼モ相當  
ナル學者デアリマス、彼ノ意見ニ依レ  
バ金ノ價值ハ段々上ッテ行クノデア  
ルカラ、若シ私共ハ時々貨幣價值ヲ修正  
シテ、一圓ノ中ニ含マレテ居ル金ノ量  
ヲ其狀態ニ應ジテ低下サシテ行クコト  
ガ出來ルナラバ、此不景氣ノ大勢カラ  
免レルコトガ出來ル、併ナガラ憲法ニ  
於テ吾々ノ所有權ヲ保障シテ居リマス  
状態ニ於テ、其財產ニ關係アル貨幣價  
値ヲ變化サセルト云フヤウナコトハ容  
易ニスベキコトデアリマセヌ、他ニ非  
常ナ影響ガアル、故ニ私共ハ之ヲスベ  
キコトデナイト思ヒマスケレドモ、幸  
ニ世界戰爭ノ爲ニ已ムヲ得ズ茲ニ一時  
貨幣ヲ停止シテ、他トノ連絡ヲ絶タレ  
タコトガアッタノデアリマスカラ、此機  
會ヲ利用シテ貨幣法ヲ改正シテ、二分  
ガ一圓トアルノヲ或ハ一分五厘ヲ一圓  
トストカ、何トカシテ貨幣價值ノ低下  
ヲ行ヒ、日本ノ産業上百年ノ大計ヲ考  
ヘ、サウシテ國民生活ノ安定ト云フコト  
ヲ考ヘテ、適當ニ貨幣價值ノ切下ヲ行

フノガ最モ合理的ナ賢明ナルヤリ方デ  
ハナカッタカ、ソレヲヤリ得ル絶好ノ機  
會ヲ現内閣ガ逃シテ、無理ニ貨幣價值  
ヲ元ニ引上ゲタト云フコトニ大ナル遺  
憾ガアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、井上大藏大臣ハ二分ヲ金一圓ト  
スルコトヲ皆期待シテ居ルト言フガ、  
期待ナドト云フコトハ兎ニ角、金輸出  
禁止ヲヤツテ居ッタ間ニ變動ガアラウト  
モ、ソレハ別ニ政府ノ責任デナイ、金  
解禁ヲヤル時ニ政府ノ責任ガ生ジテ來  
ル、其時ニ於テ吾々ハ今日ノ國民生活  
ト云フコトヲ考ヘ、日本産業ノ百年ノ  
大計ヲ考ヘテ、此時ニ貨幣價值ノ切下  
ヲ行フノガ適當デアッタト考ヘルノデ  
アリマス、今日再ビ之ヲ切下ゲルコト  
ガ適當デアルカナイカト云フコトニ付  
テハ、是ハ考ヘル餘地ガアル、併ナガ  
ラ金解禁ヲヤル時ニ於テ私共ハ貨幣價  
値ノ切下ヲヤルコトガ適當デアッタト  
確信シテ居ル、其處ハ井上大藏大臣ト  
大ニ意見ヲ異ニスル所デアリマスガ、  
此事ニ付テハ私共ハ初心ノ政治家トシ  
テ、一經濟ノコトヲ幾分研究シ始メタ人  
間トシテ井上サンノ教ヲ受ケテ私共ノ  
考ガ違ッテ居ルト云フコトヲ正シテ戴  
クナラバ洵ニ幸デアアル、併シソレガ目  
的デナイノデアリマスカラ、其事ニ付  
テ意見ガ違ウト云フコトデアルナラバ  
ソレハソレト致シマシテ、私ノ次ノ議

論ヲ進メルコトニシタイト思ヒマス  
○井上國務大臣 他ノ機會デ同様ノ質  
問ニ對シテ申上ゲタノデアリマスカラ  
簡單ニ申シテ置キマスガ、其國ニ貨幣  
法ト云フモノガアル、サウシテ國民全  
體ノ經濟上ノ取引、或ハ經濟生活ハ其  
貨幣法ニ依ッテ規定サレテ居ル、斯ウ云  
フコトガ日本ノ貨幣法デアアル、又貨幣  
法ノ精神デアリマス、即チ外國ニ日本  
ガ對シマシテモ、内地ニ於キマシテモ、  
或ハ五十年百年ノ契約ヲ致シマシテ  
モ、何時モ其貨幣法ト云フモノヲ元ニ  
シテヤルノデアリマス、國ガ段々對外  
的ニ密接ニナリマス今私ガ申上ゲタ  
二匁十圓、斯ウ云フ風ニ對外的ノ價值  
ト云フモノハソレガ元ニナルノデアリ  
マス、サウ云フコトヲ國民ニ法律トシ  
テ出シテ置イテ、サウシテ吾々ガ金解  
禁ヲヤラウト云フ場合ニ、出來ルコト  
ナラバ國民ガ何十年、何百年ヲ目的ト  
シテ居ル貨幣法ヲ元ニシテ改正スルコ  
トガ當然ノ義ト考ヘマス、能ク外國ノ  
例ヲ出サレマスガ、佛蘭西、英吉利、  
白耳義、獨逸ト云フヤウナモノハ申上  
ゲルマデモナク貨幣價值ガ非常ニ下ッ  
テ、佛蘭西ダケヲ取リマシテモ五分ノ  
一、六分ノ一、白耳義ノ如キハ十分ノ  
一マデ貨幣價值ガ下ッタノデアリマス、  
吾々ガ考ヘテモ、ドンナ政治家ガ出  
テ來テモ、之ヲ元ニ還スト云フコトハ

不可能デアリマス  
サウ云フコトヲ考ヘル時、日本ニ之  
ヲ移シテ御覽ニナルト、大正九年頃カ  
ラ六分カ七分位平均ニ下ッテ居ル、地震  
後ニ二割二分下ッタノガ最低デアアル、斯  
ウ考ヘテ見マシテ、一方ニ歴代ノ政府  
ガ金解禁ヲ速ニシナケレバナラストハ  
言フケレドモ、果シテ誠意ヲ以テ之ニ  
對スル準備ヲ進メタコトガアルカト云  
フコトヲ考ヘテ見ルト、私ハ遺憾ナガ  
ラ金解禁ノ準備ヲ眞面目ニシタ政府ハ  
ナイト言ッテモ宜イ、爲替相場ガ僅カ六  
七分下ッテ居ッテ、是マデ十何年間一度  
モ誠意ヲ以テ之ヲ試ミタ政府ガナイノ  
ニ、出來スト云フコトガ一體ドウシテ  
言ハレマセウカ、私ハ總テノ準備ヲス  
ルナラバ出來ル、斯ウ考ヘルコトガ本  
當ノ政治家ノヤリ方ト考ヘタノデアリ  
マス、ソレデアアルカラ色々ナ準備ヲシ  
テヤッタ仕事デアリマシテ、松山サンノ  
言ハレルヤウニ、貨幣法ガアラウトモ、  
何年間カ茲ニ爲替相場ガ下レバ、其下ッ  
タ時ニ金貨ヲズン／＼削ッテ行ッタ宜  
イデナイカト言ハレマスガ、左様ナコ  
トガ一體國民ノ經濟生活、經濟組織ト  
云フモノカラ出來マセウカ、昔徳川幕  
府ニ於キマシテ左様ナ事ヲ度々試ミタ  
コトガアリマスガ、ソレハ何時モ政府  
ノ破滅デアリマス、此貨幣ト云フモノ  
ニ對シテノ根本ノ信用ガ國ニ無クナッ

タナラバ、ソレハモウ其國ノ一番ノ破  
滅デアリマス、隨テ吾々ハ準備ヲシテ  
ヤレバ行ケル、斯ウ考ヘテヤッタノデ  
アリマス、ソレナラバ今ノ如ク債務者  
ニ非常ナ不利益デ、債權者ニ利益ニナッ  
タデナイカト言ハレマスケレドモ、ソ  
レハ貨幣法ノ當然ナノデアアル、大正四  
年カラノコトヲ考ヘテ見ルト、元ニ還ッ  
タト言ッテ宜イノデアアル、サウ極端ニモ  
下ラズ、長イ間是ガ下リツ、行ッテ、ソ  
レニ依ッテ、日本ノ經濟界ガ出來テシ  
マッテ居ルト云フコト、ハ大變違フノ  
デアリマスカラ、吾々ハサウ云フ考ヲ  
以テ新平價解禁ノ如キハ考フベキコト  
デナイ、サウ云フ譯デアッテ舊平價解禁  
ハ出來得ルト云フ決心ヲ以テヤッタノ  
デアリマス  
○松山委員 今井上大藏大臣ノ御話ニ  
依リマス、何處迄モ貨幣法ニ於ケル  
價值ト云フモノニ拘束セラレナケレバ  
ナラスト云フ御意見ノヤウデアリマス  
ガ、ソレハ金輸出禁止中ハソレニ拘束  
サレテ居ラナイト云フコトヲ私ハ申上  
ゲテ居ルノデアリマス、唯外國ニ對ス  
ル信用ト云フコトヲ申シマスガ、外國  
ニ對スル計算ハ總テ金ノ量ヲ行クノデ  
アリマスカラ、日本ニ於テ通貨ノ價值  
ヲ下ゲヤウガ外國ニ對スル信用ニ關係  
ハナイ筈デアリマス、其證據ニハ佛蘭  
西ノ法ハ日本ノ圓ニ較ベテズット單位

ハ低イケレドモ、獨逸ノ馬克ハソレヨリ低イケレドモ、是ハ別ニ其國ノ信用ニ關係ハナイノデアリマス、ソレカラ歴史的事ヲ御話ニナリマシタガ、現ニ日本ハ明治四年ノ新貨條例ノ時ニ金十圓ヲ三匁九分六厘トシ、ソレヲ三十年ニ十圓ヲ二匁ト云フ風ニ變ヘタ、明治十五年ニ松方サンガ不換紙幣ノ整理ノ時ニ、通貨ノ價值ヲ引上ゲルコトハ、國民ノ社會生活ニ非常ナ打撃ヲ與ヘルモノデアルト云フ苦イ經驗ヲ嘗メテ居ル、其當時ノ福澤サン、田口サンノ文章モ殘ツテ居ルガ、吾々ハ不換紙幣ノ整理政策ヲ執レト言ツテ贊成シテヤラセタノデアアルガ、斯ノ如キエライ影響ガアルトハ思ハナカッタ、陸奥宗光伯ナドハ外國カラ歸ッテ來テ反對シタ、斯ノ如キ事ハ國、民ヲ滅スモノデアルトシテ反對シテ居ルノデアリマス、其痛イ經驗ヲ持ッテ居ル松方サンハ明治三十年ノ金本位制復歸ノ時ニ、通貨ノ價值ヲ其儘ニシテ置イテ法認價值ヲ明治四年ノ時カラ約半分ニ切下ゲタ、日本ノ歴史ヲ顧ミマシテモ切下ゲタ例ハアルノデアリマス、ソレカラ徳川時代ノ例ヲ御引ニナリマシタガ、徳川時代ニ通貨ノ價值ヲ引下ゲルト云フコトノ最モ著シイ例ハ、元祿時代徳川綱吉ノ小判改鑄ノ時デアッタト思フノデアリマス、此時ニハ御承知ノ如ク元祿小判ハ慶長小判ニ比シテ三割五分二厘ダケ金ノ目方ヲ減シタ、今日ノ言葉デ言ヘバ貨幣ノ價值ヲ三割五分二厘切下ゲタト云フノガ其時ノ實情デゴザイマス、是ハ確ニ普通歴史家ニ依ッテ綱吉ノ惡政ノ一ツニ算ヘラレテ居ル、今度我國ニ於ケル金解禁ノ問題、貨幣ノ切下ゲ問題ガ起ッタニ付イテ其頭デ此歴史ヲ讀ミ直シテ見タガ、此時ニ私ノ見ル所デハ古イ小判即チ慶長小判ヲ持ッテ居ル者ニ、新小判ト交換シテヤルカラ換ヘニ來イト云フ命令ヲ發シタガ、人民ガ肯カナカッタ、來年ノ何月迄ヲ締切トシテ交換スルカラ持ッテ來イト言ツタガ持ッテ來ナイ、モウ一年待ッテモ持ッテ來ナイ、三割五分二厘金ノ目方ガ減ルト云フノデアアルカラソナ目方ノ減ッタ小判ヲ求メル者ハナイ、換ヘニ來ル者ノナイノハ當然デアアル、ソナ無駄ナ事ヲシテ居ル、ミットモナイ、政府トシテハ其法令ガ實行サレナイノデアアルカラ非常ニミットモナイ事ニナッテ居リマス、私共ノ見ル所デハ此以外ニハ此綱吉ノ貨幣改鑄ニ關スル限リ政治上ニ不都合ナル事ハ起ッテ居ラナイ、御承知ノ如ク綱吉ト云フ男ハ費澤ヲヤッタ男デアアルカラ、政治上ニハ非常ニ稅政ト言ハレル失政ガアリマス、其綱吉ノ政治ハソレデ私ハ宜シイトハ言ハナイケレドモ、貨幣改鑄ニ關スル限リニ於テハ不都合ト見テ居ナイ、學者ノ方面ヲ見マシテモ新井白石ハ之ヲ善クナイト言ツテ居ル、是ハ民政黨見タイナ頭ノ人デアアル、獲生徂徠ハ惡イト言ウテ居ナイ、元祿ノ文化ハ此貨幣價值ノ切下ニ依ッテ起テ來タ、元來徳川幕府ト云フモノハ財政困難ガ出來ルヤウニ出來テ居ル、是ハ徳富サンノ大日本國民史ヲ讀ンデ私ハ教ヘラレタノデアリマスルガ、徳川家康ノ千慮ノ一失ダ、非常ニ用意周到ナ思慮周密ナ人デアアルケレドモ、此財政ノ立方ニ付テハ失敗シタ、徳川氏ハ八百萬石デアアル、大々名デアアルケレドモ八百萬石ノ收入ヲ以テ天下三千萬石ノ政治ヲ引受ケタノデアアル、此處ニ財政困難ノ起ルノハ當リ前ナ事デアアル、家康ノ當時ニ於テハ別ニ差支ナカッタ、豐臣氏ヲ滅シテ莫大ナル財寶ヲ奪ッタデアリマスカラ、別ニ金ニハ差支ナカッタ、三代將軍家光ノ時ニモ此金ガアツテ財政ニハ困難ニ陥ラナカッタ、然ルニ其晩年カラ徳川ノ財政ハ困難ニナリ、四代ヲ經テ五代ノ綱吉ノ時代ニナッテ幕府ノ財政ハ益々困難ニナリ、非常ニテ幕府ノ財政ニ惱ンデ居ル、其處ニ綱吉ト云フ我武者羅ガ出テ一萬兩ノ金ヲ一萬五千兩ニ使フ方法ヲ考出シタ、是ガ小判改鑄デアアル、當時甚ダ宜シクナカッタ、併シ其結果ハ善カッタ、元祿ノ文化ハ是ガ爲ニ起ッテ來タ、之ニ付テハ勿論今上ル、ソレナラバ時々貨幣價值ヲ切下ゲ

テ行ケバ好都合デアル、併シ是ハ他ノ  
 色々ノ法規上、殊ニ憲法ニ於テ所有權  
 フ保障シテ居ル以上ハ、サウ云フ事ハ  
 スベキデナイ、唯此場合ハ幸ニシテ通  
 貨ト貨幣價值トノ連絡ヲ切離シテ、金  
 ノ輸出禁止ヲ解ク絶好ノ機會デアるか  
 ラ、此機會ニ行ヘバ宜カッタト斯ウ申  
 上ゲテ居ルノデアリマス、ソレデ私ノ  
 議論ハ次ニ進メテ行キタイト思ヒマス  
 次ニ農村ノ事ニ付テ御話ヲ致シタイ  
 ト思ヒマス、農村今日ノ負債ハ五十億  
 圓デアッタト思ヒマス、ソレデ先ニモ申  
 シマスマウニ、貨幣價值ガ全體トシテ  
 二割七分五厘上ッタト云フ關係ヲ之ニ  
 適用致シマス、農村ノ負擔ガ十三億  
 七千五百萬圓ダケ増加致シテ居ルノデ  
 アリマス、ソレカラ金解禁ノ影響ガ九  
 分四厘デアルト云フコトヲ先ニ申シマ  
 シタガ、其關係ヲ適用致シマス、農  
 村ノ負擔ガ金解禁ダケデ四億七千萬圓  
 ダケ増加致シテ居ルノデアリマス、井  
 上大藏大臣ハ近頃度々意見ヲ御發表ニ  
 ナリマシテ、今日産業ノ合理化ノ行ハ  
 レナイノハ、事業會社ノ借金整理ノ問  
 題ガ解決セヌカラデアアル、農村振興ノ  
 實ノ擧ラナイノハ農村ノ負債ノ問題ガ  
 解決サレナイカラデアアル、故ニ産業ヲ  
 復興シ、農村ヲ振興セシムルニ付テハ、  
 此負債整理ト云フ問題ハ實ニ重大ナル  
 問題デアアル、即チ是ハ重大ナル社會問

題ニナツテ來タト云フコトヲ、井上大藏  
 大臣ハ屢々意見ヲ發表セラレテ居ルノ  
 デアリマス、私共モ洵ニ同感デアリマ  
 ス、然ルニ現内閣ガ貨幣價值ヲ引上ゲ  
 タ結果二割七分五厘ノ負擔増加ヲ來  
 シ、金解禁影響ノ九分四厘増ノ關係ダ  
 ケデモ農村ニハ四億七千萬圓、又産業  
 界ニ致シテハ十二億八千萬圓ノ損失  
 ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、之ニ先  
 ニ申上ゲマシタヤウニ個人關係ノ貸借  
 ガ非常ニ大キイモノガ出來テ居リマス  
 カラ、實際ハモットノ非常ニ大キナモ  
 ノニナルト思ヒマス、唯此與ヘラレタ  
 ル數字ニ於キマシテモ、ソレダケノ損  
 失ヲ與ヘテ居ル、ソレガ爲ニ事業會社  
 ノ整理ガ困難デアリ、農村ノ困難ハ愈  
 加ッタデアリマス、農村ニ於ケル財政  
 負擔ハ二億七千萬圓ト記憶シテ居リマ  
 スガ、更ニ金解禁ノ結果四億七千萬圓  
 増加シタ、即チ二倍カラノ増加ヲ來シ  
 タノデアリマス、是ハ私共今日ノ農村  
 問題ヲ考フルニ付テ、實ニ重大ナル事  
 デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、  
 是ニ付テ井上大藏大臣ニ御考ガアリマ  
 スナラバ承リタイト思ヒマス

○井上國務大臣 松山サンニ私少シ御  
 問ノ意味デハナカッタケレドモ、斯ウ御  
 答シタラバヨク分ルノダラウト思ヒマ  
 スガ、貨幣價值ガ上ッタ、ソレニハ物價  
 ガ下ッタ、サウ假ニ考ヘマシテ行ッタナ  
 ラバ、初メテ世ノ中ト云フモノハ落著  
 クデアリマス、物價ガ下リ生活費ガ  
 下リ、ソレカラ物ヲ拵ヘル生産費ガ下  
 ルト云フ所マデ行キマシテ、何處ノ部  
 分ニモ無理ガナクテ行キマス、即チ勞  
 銀デ申シマスレバ、生活費ガ下レバ勞  
 銀ガ下ッテモ宜シイ、ソレニ依ッテ物ヲ  
 拵ヘル賃金モ安クナル、サウシテ初メ  
 テモノハ落著ク所ニ落著クデアリマ  
 スガ、何處ノ國デモ今日急激ニ經濟界  
 ガ變ッテ、何ニ苦シンデ居ルカト云フ  
 ト、其均衡ヲ得ズニ居ルノデアリマス、  
 其均衡ヲ得ル所マデ行キマシテ、初メ  
 テ、國ノ經濟組織ト云フモノガ整理サ  
 レル譯ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、  
 隨テ只今ノ、昨年何箇月ト申シマスカ、  
 世界ノ不景氣ガ急激ニ日本ニ來タ後  
 ノ、此短イ間ヲ捉ヘテ、貨幣價值ガ上  
 タチヤナイカ、生活費ガマダ下ラヌチ  
 ヤナイカ、其處ニ非常ニ無理ガアルト、  
 斯ウ言ハレルコトハ、是ハ何處ノ國デ  
 モ今經驗シテ、ソレニ苦シンデ居ル所デ  
 アリマス、併シ追々ハサウナリマス、  
 サウナリマスルナラバ、少シモ差支ヘ  
 ナクナラウト思ヒマス、假ニ申シマシ  
 タナラバ、一昨日、昨日アタリカラ、ド  
 ノ委員會ニ於テモ度々聞カレル官吏ノ  
 減俸トカ、或ハ使用人ノ俸給ノ減額ト  
 カト云フヤウナ事柄モ、一方ニ生活費  
 ガ下ッテ來レバ減セラレル、サウスレバ

國民ノ負擔モ、ズン／＼減ジテ行クト、  
 斯ウ云フコトニ今ナリツ、アル道程ニ  
 アルデアリマスカラ、此道程ヲ捉ヘ  
 テ、是ガ無理ダ、アレガ無理ダ、斯ウ  
 言ハレテモ、是ハ經濟界ノコトニハ常  
 ニサウ云フコトガアルノデアリマス  
 ソレカラ只今非常ナ借入金ガ多イト  
 言ハレマシタ、成程農村ノ借入金ハ多  
 イノデアリマスガ、之ヲ整理スルコト  
 ガ、日本ノ農村ヲ整理スル唯一ノ途ト  
 吾々ハ考ヘテ居ル、併シ能ク御考ヘニ  
 ナッテ御覽ナサイ、ドウシテ此借金が農  
 村ニ斯様ニ出來タカ、斯ウ云フコトヲ  
 考ヘテ見マシタナラバ、アノ所謂「モ  
 ネーインフレーション」ノ結果ヂヤナ  
 イカ、金ノ輸出禁止ヲシテ、不自然ノ  
 中ニ日本ノ經濟界ヲ置イタカラヂヤナ  
 イカ、歐羅巴ノ戰爭ノ時ニ、非常ニ通  
 貨ガ殖エテ、「モネー、インフレーション」  
 ン」ガ起ッタ結果ヂヤナイカ、其結果ノ  
 爲ニ農村ガ相當ノ影響ヲ受ケタノガ、  
 今日ノ農村ノ借金ノ非常ニ多イ譯ヂヤ  
 ナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘ當ルダラ  
 ウト思ヒマス、サウナレバ、大體申シ  
 マシタナラバ、農村ノ整理ヲスルニハ、  
 金解禁ヲシテ、日本ノ經濟界ヲ自然ノ  
 法則ニ戻シテ置イテ、ソレカラ國民ノ  
 負擔ヲ段々減ジテヤッテ、ソレデ借金ヲ  
 段々整理シテ行カナケレバナラヌ、一  
 方ニハ利息ノ安イノニ之ヲ借換ヘ行カ

ナケレバナラヌ、一方ニハ負擔ノ輕減ヲシテ行カナケレバナラヌ、併ナガラ根本ニ於テ、農村ガ過去ノヤウナ「モネー・インフレーション」ノ結果デアッタナラバ、ドンナニヤツテモ次カラ次ニ借金ガ出來テ來マス、サウ云フコトヲマア吾々ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、其處ヲ一ツ御承知ヲ願フテ置キマス

### ○松山委員 今ノ大藏大臣ノ御演說ニ付キマシテハ、私モ意見ガアリマス、併シ議論ヲ前ニ進メル爲ニ目的ニ向テ質問ヲ進メマス、私ハ公債問題ニ付テ御話ヲ致シタイ、ソレガ目的デアリマス、昭和四年六月末現在ニ於ケル國內債——外國債ハ引キマシテ、國內債ガ四十四億一千百萬圓デアリマス、地方債ガ二十億五千萬圓其合計ガ六十四億六千百萬圓、是ハ公債ト地方債券ノ所有者ヲ貸手トシテ、國民一般ヲ借手トスル貸借デアリマス、即チ全體ト致シマシテハ先ニモ申上ゲル通り、二割七分五厘ト云フモノヲ之ニ適用シマス、十七億七千六百萬圓ガ國民ノ負擔ガ増シテ居ル譯デアリマス、金解禁ノ影響ノ九分四厘ヲ適用シマス、六億七百萬圓ガ國民ノ負擔ガ増シテ居ル譯デアリマス、ソコデ此公債論ニ移ル譯デアリマスガ、此公債ニ對シテ私ノ見ル所ハ、民政黨ノ人々ト私共トハ意見

ヲ異ニ致シテ居リマス、私共ノ考デハ國民ノ經濟的能力サヘ進ムナラバ、公債ノ量ハ増加シテモ差支ナイ、ソレニ相應シテ増加スルコトハ差支ナイト見テ居リマス、即チ今日ノ六十億圓ノ公債ハ、以前ノ日本ノ國民ノ經濟的能力ニ對シテ、左程恐ルベキモノデナイト見テ居ルノデアリマスガ、民政黨ノ人ハ是ハ非常ニ恐ルベキ状態ニ在ル、日本ノ財政ガ殆ド破滅ニ瀕スルヤウナ状態デアアル、故ニ吾々ガ内閣ヲ取ツタナラバ、其公債ノ整理ヲスルノダ、即チ現内閣ニナツテカラヤルコトハ、非募債主義、モウ一ツハ、減債基金ノ増加デアリマス、其意味ニ於キマシテ此賠償特別會計トシテ、獨逸カラハイテ來ル所ノ賠償金六百三十萬圓ト云フモノヲ、年々減債基金ノ中ニ入レルト云フコトノ方針ヲ現内閣ハ御立テニナツテ、現内閣ノ財政政策ノ現レトシテ、之ヲ非常ニ誇ツテ居ル、天下ニ高唱シテ、此方針ヲ御立テニナツタノデアリマス、然ルニ今度此賠償特別會計法廢止ノ理由ヲ見マス、存置スルノ必要ナキニ至リタルヲ以テ——モウ賠償特別會計法ハ目的ハナイノダ、世界戰爭關係ノ救恤金ヲヤルニ至ツタ、國際聯盟或ハ移植債デアルトシテ、其整理ニ掛ルト言フテ、現内閣ガ選舉ヲヤツテシマフト、公債ヲ募リ出シタ、サウシテ減債基金ノ繰入ヲナクシテシマッタ

ヲ存置スル必要ガナクナツタ、ソレハ救恤金ハヤル必要ガナクナツタ、國際聯盟或ハ移植債或ハ航空施設ト云フコトハ、田中内閣ノ立テタ方針ダカラ、是ハヤル必要ハナイト云フ理由デ、減債基金繰入ト云フコトガ減ツテ居ルノデアリマスガ、存置スル必要ガナクナツタ、是ハ一般會計ニ入レテシマフ、然ラバ一般會計ニ入レテ一般會計ノ方デソレヤルノカト云フトサウデアリマセス、此參考書ヲ見マス、今年度ハ一般會計カラノ減債基金ノ繰入ハ千五百萬圓減ツテ居ル、公債ノ金額ガ殖エタカラソレニ伴フ三百萬圓餘ノモノハ殖シテアリマス、ソレデ差引千二百五十萬圓カニナツテ居リマスガ、此公債ノ主體タルモノニ對スル此繰入ハ千五百萬圓減ツテ居ル、サウシテ此六百三十萬圓ト云フモノハ殖サナイ、ソレト合セテ二千百萬圓ト云フモノハ、一般會計カラ減債基金ニ對スル繰入ガ、以前ヨリ少クナル譯デアリマス、デ先ニ申シマシタ通りニ、濱口内閣成立當時ノ公債ノ額ガ五十八億何ガシデアリマス、ソレガ日本國民ノ負擔ニ堪ヘナイ程ノ重イ、日本ノ財政ヲ危クスル恐ルベキ公債デアルトシテ、其整理ニ掛ルト言フテ、現内閣ガ選舉ヲヤツテシマフト、公債ヲ募リ出シタ、サウシテ減債基金ノ繰入ヲナクシテシマッタ

然ラバ日本國民ノ經濟能力ガ非常ニ増シタノカト云フトサウデハナイ、今申シマシタ農村ノ状態ハドウデゴザイマセウカ、產業界ノ状態ハドウデゴザイマセウカ、國民ノ負擔ノ能力ト云フモノハ、非常ニ現内閣ニナツテカラ減ツテ居ルノデアリマス、然ラバ此公債五十八億圓、其モノデモ、既ニ日本國民ニ對シテハ非常ナ國民的負擔デゴザイマス、然ルニ今申シマシタヤウニ、此全體カラ申シマスレバ、十七億七千六百萬圓、金解禁ノ影響ダケカラ申シマシテモ、六億七百萬圓ト云フ、國民ノ公債ニ付テノ負擔ガ増加致シテ居リマス、公債ノ額モ今日ハ六十億圓以上ニナツテ居ル、サウスルト茲ニ二十億圓以上モ國民ノ負擔ガ増加シテ居ル譯デアリマス、六十億ヲ基準ニ置クナラバ、殆ド三分ノ一増加シテ居ルコトニナルノデアリマス

斯ノ如キ状態ノ下ニ於テ現内閣ハ公債整理ヲ其生命トスルガ如クニマデ天下ニ高唱シタ現内閣ガ、此減債基金繰入ヲ廢メテシマツテ、賠償特別會計法ヲ廢止スルト言ヘバ何モ關係ナイヤウダガ、實ハ減債基金繰入ヲ廢メルト云フ事ハ言ヒタクナイカラ、其言葉ヲ使ヒタクナイカラ、ソレデ一般會計ニ繰入レテシマツテ、一般會計デハ出サナイ、ヤラズ取ツタリ、斯ウ云フ蟲ノ好イ方法ヲ

然ラバ日本國民ノ經濟能力ガ非常ニ増シタノカト云フトサウデハナイ、今申シマシタ農村ノ状態ハドウデゴザイマセウカ、產業界ノ状態ハドウデゴザイマセウカ、國民ノ負擔ノ能力ト云フモノハ、非常ニ現内閣ニナツテカラ減ツテ居ルノデアリマス、然ラバ此公債五十八億圓、其モノデモ、既ニ日本國民ニ對シテハ非常ナ國民的負擔デゴザイマス、然ルニ今申シマシタヤウニ、此全體カラ申シマスレバ、十七億七千六百萬圓、金解禁ノ影響ダケカラ申シマシテモ、六億七百萬圓ト云フ、國民ノ公債ニ付テノ負擔ガ増加致シテ居リマス、公債ノ額モ今日ハ六十億圓以上ニナツテ居ル、サウスルト茲ニ二十億圓以上モ國民ノ負擔ガ増加シテ居ル譯デアリマス、六十億ヲ基準ニ置クナラバ、殆ド三分ノ一増加シテ居ルコトニナルノデアリマス

考へ付カレタ譯デアリマスガ、是迄ノ現内閣ノ主張ニ對シテ矛盾スル所ハナイカ、此點ニ對シテ大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○井上國務大臣 獨逸ノ賠償金ノ今後ノ六百三十萬ヲ減債基金ニ繰入レルト云フコトハ、斯ウ云フコトハ昨年吾々が組閣當時カラ發表シタ一ツノ方法デアリマス、ソレヲ今日一般會計ニ繰

入レルコトハ、洵ニ遺憾ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ繰返シテ申上ゲマスルガ如ク、昭和六年度ニ於キマシテハ、昭和五年度ノ實行豫算ニ對シマシテハ、税ノ收入ダケで一億五千五百萬圓程減リマス、其減リマ

スニ應ジテ歳出ヲ段々切落シテ行ッテ見マスルト云フト、左様ニ無理ナ事モ出來ナイ行政機關ヲ茲ニ以テ居ル、サウシテ急激ニ一億五千萬圓以上ノ歳入

ガ減ッテ、ソレニ應ジテ行政機關ヲ維持スルト云フコトハ、非常ナ無理ガ行クカラシテ、一旦六百三十萬圓ト云フモノヲ減債基金ニ繰入レルコトヲ決メタ

ケレドモ、此急激ナル經濟界ノ變動ニ應ジテハ已ムヲ得ナイカラ、之ヲ一般會計ノ歳入ニ立テ、使ハウ、斯ウ云フ風ニ決メタノデアリマス、隨テ只今仰シヤル如ク一昨年ノ七月ニ之ヲ發表シテ、今日ハ經濟界ノ狀態、政府ノ歳入

ノ狀態ガ斯様ニ急激ニ變ジタカラ變ヘ

タト、斯ウ云フコトデアリマス、例ヲ申シマスルト云フト、失業公債ヲ二千二百萬圓募リ、鐵道ノ爲ニ、失業救済ノ爲ニ二千二百萬圓ノ公債ヲ募ルト云フヤウナコト、殆ド同ジ事デ、斯様ナ特別ノ場合ノ特別ノ處置トシテ當分ノ間

六百三十萬圓ヲ一般會計ノ歳入ニ充當シタ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ只今吾々ノ公債政策ヲ御非難デアリマシタガ、極ク簡單ニ私ハ申上ゲテ置キマス、公債ヲ依然一億數千萬圓、一般會計ニモ募ッテヤッテ居ッタノデアリマス、或ハ特別會計、一般會計ヲ

通ジテ二億位ノ公債ヲ殆ド平均ズットヤッテ居リマシタガ、金ノ解禁ヲ一ツ決行シヨウト斯ウ考ヘテ見マスルト、假

ニ今松山君ガ言ハレル如ク、歳入ガ減ッタル公債ヲズン、發行シテ、サウシテ假ニ財政計畫ヲ立テロト言ハレテ

見マシタナラバ、其結果經濟界ニドウ云フ影響ヲ與ヘルカト言ハバ、成程一方ニハ世界ノ不景氣ノ爲ニ日本ノ物價

ガ下ル、一時的ニハ其物價ノ下リヲ阻止スルコトガ出來マセウ、併ナガラ阻止シマシタ結果ガドウナルカト言ハバ、國ノ貸借、國際貸借ト云フモノハ内地ノ物ガ安クテサヘモ賣レナクテ困ッテ居ル場合ニ、是ガ高クナッタラバドウナルカト云ヘバ、國際貸借ノ關係

ハ非常ニ惡クナルト云フコトガ當然ノ結果ダラウト思ヒマス、サウシナケレバ公債ヲウント發行シテ、内地ノ經濟界ノ維持ヲシテ見ヨウト云フ人ノ目的

ハ達セヌノデス、内地ノ勞銀ヲ高クシヨウ、仕事モ盛ニシヨウ、物價モ安クセヌヤウニシヨウト云フナラ、其結果

ハ物ノ値段ガ高ク維持ガ出來ル、物ノ値段ガ高ク維持出來タナラバ外國ニハ餘計賣レナイ、賣レテモ生産業者ハ

非常ナ損ヲスル、生絲ノ如キハ其一例デアリマス、サウナッタ結果ガ、左様ナ政策ガ金解禁後ニ長ク續ク氣遣ハナイ、一時的ニハ——貴方ノ先刻カラ度

度出サレル「モネー・インフレーション」ノ結果トシテ、一時的ニハ宜シカラウガ、永久ニハサウ云フコトハ出來

ナイ、況ヤ金解禁後ノ此狀態デ左様ナ事ハ出來ナイト云フコトガ吾々ノ政策ノ骨子デアリマス、隨テ公債ヲ募ルニ

シテモ、從來ノヤウナ考ト考ガ違フノデアリマス、已ムヲ得ヌカラ、失業公債ヲ募ラウ、隨テ計畫モ其計畫ヲ立テ

アリ、私自身ト致シマシテモ貧弱ナル研究ノ中カラデモ大ニ申上ゲタイ事ガアルノデゴザイマスガ、時間ガ許シマ

セヌカラ、尙ホ私ノ質問ヲ先へ進メルコトニ致シマス、要點ダケ私ハ御話ヲ致シマスカラ、モウ時間モゴザイマセ

スデスカラ、大藏大臣モ其御積リデ要點ダケ簡明率直ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

大藏大臣ハ屢、書物ヲ御出シニナリ、演説ヲ爲サレ、私ハ學理及ビ實際ニ堪能ナル大藏大臣ノ御書キニナッタ書物

ナドモ大抵讀ミマシタ、大イニ其御趣旨ヲ有難ク思ッテ居ルノデアリマスガ、茲ニ私ノ解シ兼ネル一ツノ問題ガアル、

ソレハ大藏大臣ノ御演説デ見ルト、斯ウ云フ風ニ論理ガ進ンデ居リマス、戰後世界ノ諸國ハ經濟界ノ整理ガ出來タケレドモ、日本ハ遅レテ居ル、故ニ物價ガ下ラス、故ニ輸入超過ガ日本ハ段

段年々續イテ洵ニ困ッタ狀態ダ、故ニ吾等ハ此金解禁ヲ企テ——是カラガ問題デス、此處マデハ異論ハナイ——故ニ吾々ハ金解禁ヲヤッテ生産原價ヲ下ゲ

テ、物價ヲ下ゲテ、輸出ガ容易クナルヤウニスルンダ、是ハ誰ガ聞イテモ尤ニ感ズル、結構ナ方法ノヤウニ思フノ

デス、所ガ現内閣ノヤッタ通貨ノ額ヲ引上ゲタ結果ハ、貨幣價值ヲ引上ゲタ結果ハ、私共ノ見ル所デハ生産原價ガ増



加シテ居ルト見テ居ル、日本國內デハ別ニサウ大シテ増加シテ居ルヤウニハ見エマスマイガ、之ヲ對外的ニ考ヘテ生産原價ハ増加シテ居ル、輸出ガ一層困難ニナルヤウニナツテ居ルト私ハ思ウテ居ルノデス、然ルニ此事ヲ大藏大臣ハ極メテ當然ノ論理ノ進行ノヤウニ、吾々ハ金解禁ヲヤツテ、生産原價ヲ下ゲテ物價ヲ下ゲテ、輸出ヲ容易クスル、斯ウ云フヤウニ議論ガ御進ミニナルガ、茲ニ大藏大臣ハ大キナ御考違ガアルノデヤナカラウカ、或ハ私共ニ考違ガアルナラバ、ソレヲ教ヘテ戴キタイ、ソレガ私ノ質問ヲ致シマス目的デゴザイマス

茲ニ私ハ生産原價ヲ成ス要素ヲ考ヘテ見タイ、租税及ビ諸公課、鐵道運賃、郵便、電信、電話料金、煙草專賣價格、印紙税及ビ諸手数料、俸給、給料、サウ云フヤウナ點デゴザイマスガ、曩ニ申シマスルヤウニ、米國ノ生絲ノ場合ヲ採ツテ申シマスルナラバ、米國ニ生絲ヲ送ルガ爲ニ——理論的ニ言フナラバモット三割モ下ゲナケレバナラス、所ガ生産費ノ要素ヲ成ス是等ノモノガ——政府ノ手ニ於テ下ゲヤウト思ヘバ下ゲラレナイコトモナイ是等ノモノガ、チツトモ下ツテ居ラナイ、是等ノモノガ下ラヌト云フコトハ、其貨幣價值ガ引上ゲラレ、バ——貨幣價值ノ内容ガ、濱口

内閣ノ初メ頃、田中内閣ノ終リノ六月二十九日ノ計算ダカラ、或ハ少シ御異論ガアルデセウガ、六月二十九日カラ一月二十日マデニ百圓ノ金ガ十七匁七分カラ二十匁ニ引上ゲラレタ、外國カ分カラ二十匁ニハ……日本ノ是等ノ租税及ビ諸公課、鐵道運賃、郵便、電信、電話料金、煙草專賣價格、印紙税、諸手数料、俸給、給料ト云フモノガ少シモ下ラヌト云フコトハ、生産原價ガ對外的ニ見テ上ツテ居ル、ソレカラ工賃ノヤウナモノモ工場法ノ規定ガアツテ急ニ下ゲラレナイ、借入金ノ問題、地代、家賃ノ問題、動力費ノ問題——動力費ハ段々下ツテ來マセウガ、是モ契約ノ關係ガアツテ急ニハ下ラナイ、サウ云フヤウニ考ヘルト、生産原價ヲ構成スル要素ノ中下ゲ得ルモノハ株主配當ダケデアル、株主ハ、今デハ何處ノ會社デモ配當ナント云フモノハ暫ラク出來ナシテモソレダケデハ納マラナイ、殊ニ紡績ノヤウナモノニナルト、原料ハ外國カラハイッテ來ル、其原料ハ上リハセスケレドモ、爲替關係カラ申シマスレバ、原料費ト云フモノハ其儘デアリ

斯ウ云フヤウニ考ヘマスト、大藏大臣ガ議論ヲ御進メニナル所ノ、金解禁ヲヤツテ、生産原價ヲ下ゲルノダト云フ

ヤウナコトニハナツテ居ラス、對外的ニ考ヘルナラバ日本ノ生産原價ハ上ツテ居ル、生絲ノ場合デ云フナラバ、貨幣價值ガ上ツタカラト云ウテ、急ニ日本ノ生絲ノ價格ハ動カナイ、ソレハ米國カラ見ルナラバ、日本ノ生産原價ハ上ルト云フコトニナル、ソレヲ大藏大臣ハ金解禁ヲシテ生産原價ヲ下ゲルンダト云フ所ニ何カ御考違ガナイダラウカト云フコトガ一ツ

モウ一ツハ生絲ノ場合ヲ採リマスナラバ、生産原價ガ少シモ下ラヌカラト云ツテモ下ゲナイ譯ニハ行カヌ、下ゲナケレバ向フハ買ウテ吳レナイ、殊ニ支那ノ生絲ノ競争モ出テ來タ、他ノ物ハ下ラヌカラ結局下ゲ得ル所ノモノガ負擔シナケレバナラス、ソレハ何カト云フト繭ノ價格デアリマス、生絲ノ値段ガ非常ニ下リマシタガ、繭ノ値段段ンレヨリ以上ニドント下ラナケレバ、外國ヘ賣レルヤウニ製絲ガ出來ナイト云フコトニナル、其結果農村ヲ壓迫シ、農村ハ疲弊シタ、現内閣ガ租税及ビ諸公課ヲ減ラサナイ、俸給モ給料モ減ラサナイ、鐵道運賃モ、郵便、電信、電話料、煙草專賣モ皆下ゲナイ、ソレ等ノモノハ皆農村ガ負擔シナケレバナラヌ、其結果ガ今度ノ農村疲弊ノ非常ナ原因ニナツテ居ルガ、是ガ大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイ一ツデアリマス

モウ一ツ序ニ日本ノ物價指數ハ二割七分五厘下ツテ居ル、米國ハ二割二分デアリマスガ、大藏大臣ノ施政ノ方針ノ演説ヲ見マスルト、日本ノ物價ハ二割七分五厘下ツテ、米國ハ二割二分デアルカラ、日本ノ方ガ多ク下ツテ、貿易關係ガ都合ガ好クナッタ、以前ヨリモ貿易關係ガ都合好クナッタ、國際貸借ノ改善モ好クナルト云フヤウニ言ハレマシタガ、私共ノ見ル所デハ二割七分五厘下ツタノデハ、日本ノ物價ハ下リ足ラス、三割零分一厘下ラナケレバ、米國ノ二割二分ニ對抗スルコトハ出來ナイ、今日ノ狀態デハ日本ノ物價ハ下ゲヤウガ足ラナイ、濱口内閣成立ノ當時カラ較ベテ、今日ノ對外貿易ノ關係モ考ヘテ、日本ノ物價ハ下リ足ラス、言換レバ日本ノ物價ハマダ下ル、マダ下ルカラモト不景氣ガ深刻ニナツテ來ル、此不景氣ハ續ク、大藏大臣ハ不景氣ハ底ヲ突イテ、漸次景氣ガ好クナルト云フヤウニ言ハレルガ、中々サウ行クモノデヤナイ、或ハ日本ノ物價ガ下ラナケレバ貿易關係ハ困難ニナツテ、貿易不振ノ状態ニ進ンデ、正貨流出ガ續イテ行ク、昨年二億五千五百萬圓ニ減ツタ正貨流出ハ、今日三億八百萬圓デアッタト云フ大藏大臣ノ御發表デアリマス、此正貨流出ガ續イテ行クノダ、或ハ日本ノ物價ガ下ツテ不景氣ガ甚シクナル、斯ウ云

フ結論ニ到達セザルヲ得ナイト思フノ  
デゴザイマスガ、大藏大臣ハ如何ニ御  
考ヘニナリマスカ

五千萬圓減セト言フガ、サウ世ノ中ノ  
組織ハ出來テ居リマセヌ、一億五千萬  
圓正貨ガ減ツタカラ歳出ヲ一億五千萬  
圓減ス、二億減ツタカラ二億減ストサウ  
ハ行カヌノデアリマス、ソレデアリマ

禁ヲシテ日本ノ物價ガ高ケレバ、外國  
カラドン／＼物ヲ買ウテ金貨ガ出マス、  
ソレニ依ッテ調節サレ、バ日本ノ物價ガ  
高過ギレバ下ッテ來マス、是マデノヤウ  
ニ物ガ不自然ニ上ツタリ下ツタリスルノ

要モナイデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リ  
マス  
○松山委員 私人ノ御尋致シマシタ一番  
大事ナ生産原價ノ問題、生産原價ガ金  
解禁ヲヤッタ結果、吾々ハ實際ハ上ッテ  
居ルト思フ、大藏大臣ハ之ヲ下ッテ居ル

○井上國務大臣 何レモ中々困難ナ問

題デアリマスガ、松山君ハ長ク經濟界  
ニ居ラレル方デスカラ、私ガ申上ゲル  
コトハ御理解下サルダラウト思ヒマ

デハナク、是カラ先ガ下ッテ行キマスカ  
ラ、日本ノ物價ガドウ斯ウト云フコトハ  
ナカラウト思ヒマス、ソレナラバアナ  
タノ云フヤウニ此儘ニシテ置ケバ、日

本ノ物價ガ高過ギルカラ日本カラドン  
タノ金ガ出テ行ク、サウシテ又不景氣  
ガ來ル、私ハ遠イ將來ノ事ハ存ジマセ  
ヌ、併ナガラ今ノ現狀ヲ御覽ニナリマ

リ落付クモノトハ何人モ考ヘマセヌ、  
假ニ茲ニ物ノ値段ガ——生産費チヤナ

ト私ハ申シテ宜カラウト思ヒマス  
ソレカラ日本ガ二割七分下ッテ、亞米  
利加ガ二割二分下ッタガ、日本ハマダ下

リテカラ後ニハ、可ナリ金貨ガ出テ、日  
本ノ經濟界ニ脅威ヲ與ヘタノデアリマ  
スガ、マダ今年ニナリマシテ此輸入ノ

ニ於テ八百萬圓輸入超過ハ昨年ヨリカ  
減ジタト言フケレドモ、總體ノ金額ニ  
於テハ減ツテ居リマスケレドモ、結局輸

イ、生産物ノ値段ガ下ッタ、ソレナラバ  
直グニ生産費ガ下ル、總テノ公課モソ

此複雜ナ經濟界デモ、財政デモ參ラス  
ト私ハ申シテ宜カラウト思ヒマス  
ソレカラ日本ガ二割七分下ッテ、亞米

最盛期ニ當ッテ、僅カ特殊ノ事情ニ依ル  
百萬圓カ百五十萬圓ノ金貨ガ出サレタ  
ダケデアルト云フコトヲ考ヘテ見マス

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

レニ應ジテ低落スルト云フヤウナコト  
ハ、政府ノ財政ヲ見マシテモ、今日マ

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

ハ、政府ノ財政ヲ見マシテモ、今日マ  
デノ經歷ニ依リマス、中々相當ナル

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

時ヲ要スル、其處ハ私ハ先刻モ申上ゲ  
マスル如ク、物ノ値段ガ下ッテ生活費

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

ガ下ル、勞銀モ下レバ生産費モ下ッテ來  
ツ、アル今ハ道順デアアルカラ、時ヲ要

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

シマセウガ、サウ云フコトニ段々進  
デ行キツ、アリマス、斯ウ云フ譯デ

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

アリマス、財政上ハドウカト云ヘバ、  
アナタノ言フ如ク運賃モ下ゲロ、煙草

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

モ下ゲロ、給料モ下ゲロ、——是ハ理  
想デアリマス、又サウ行クベキ今日ノ

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

經濟界ノ情勢デアリマスガ、先刻申上  
ゲマスル如ク、日本ノ財政デ十四億ト

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

云フ一般會計ヲ持ッテ居ル、其中カラ一  
億五千五百萬圓正貨ガ減ツタカラ一億

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解  
議論ハ何人ト雖モ立チマセヌ、唯金解

カモ知レマセヌ、之ガ適當ナル物價ノ  
下リデアアルカナイカハ、今後ドウナル  
アナタノ言フヤウニ物價ガ高ケレバ外

ト、昨年ノ金解禁直後ト今日ノ外國貿  
易ノ狀態トハ餘程變ッテ來テ居ルト考  
ヘテモ、私ハ決シテ無理ナ考方トハ思

ト、生産原價ノコトガ影響シテ居ルト  
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
私ハ質問ヲ續ケマス、次ニ金本位制

由デアル、金輸出ノ自由デアル、金貨

鑄造ノ自由デアルト思フノデアリマ

ス、然ルニ今日日本銀行ニ行ッテ兌換ヲ

シテ呉レト云フコトヲ願フテモシテ吳

レマセヌ、五圓ヤ十圓ハシテ吳レマス

ガ、シテ吳レマセヌ、何トカ理窟ヲ言

ウテ説諭ヲシテ、シテ吳レマセヌ、ソ

レデ此兌換ノ自由ト云フモノガ果シテ

維持セラレテ居ルカドウカ、結局裁判

デモシテ、訴ヘデモスレバ、シテ吳レ

ルデセウ、併シ事實ハシテ吳レマセヌ、

ソレ等ノ事ニ付テ私ノ方ニ知識ガ足リ

ナイナラバ、其點ニ付テドウカ御説明

ヲ願ヒタイト思ヒマス

モウ一ツ外國ニ金輸出ノ事デアリマ

スガ、是ガナケレバ外國ニ金ハ送レナ

イ、是ハ政府ノ肚ハ分ツテ居リマス、銀

行モ取扱ハナイ、是デ金輸出ノ自由ト

云フモノガ果シテ確保セラレテ居ルモ

ノカ、金本位制ガ是デ維持セラレテ居

ルモノデアアルカト云フコトヲ私ハ御尋

致シタイノデアリマス、ソレニ付テハ

政府ハ色々理由ハアリマセウ、併シ之

ヲ輸出ヲシテイケナイト云フコトナラ

バ、禁止ヲシテシマッタラ宜カラウ、ソ

レダケ一ツ御尋致シマス

○井上國務大臣 只今日日本銀行ガ兌換

ヲセヌト云フ御話デゴザイマスガ、サ

ウ云フ事ハゴザイマセヌ、若シ御必要

ガアレバ私カラ申込シテ幾ラデモシマ

○松山委員 輸出モ自由デアリマスカ

○井上國務大臣 自由デアリマス

ソシテ事ハ金解禁ノ目的トハ當然逆行

スルコトデ、毛頭ゴザイマセヌ、若シ

左様ナ問題ガゴザイマシタラ何千萬圓

デモ私カラ紹介致シマス

○松山委員 ソレデハ私ノ最後ノ質問

ヲ致シマス、大藏大臣ニ御尋致シタイ

事ハ、詰リ此賠償特別會計法ヲ廢止セ

ラレルコトハ、小川政務次官ハ此間大

分御説明ガゴザイマシタケレドモ、如

何ニシテモ歳入不足ト云フコトガ原因

ダラウト思ヒマス、ソレヲ補填スルト

云フコトガ目的ダラウト思ヒマス、私

共ノ考デハ、其歳入不足ト云フコトハ

何ガ故ニ起ツタカト云ヘバ、現内閣ノ金

解禁ト云フコトガ非常ニ大ナル影響デ

アル、先程モ申シマシタヤウニ、此不

景氣ニ對外價值ニ於テ三割四分ダケ影

響シテ居ル、サウスレバ有ユル貸借關

係、或ハ物價ノ關係ニ於テ、ソレダケ

ノ重大ナル影響ヲ持ツテ居ルノデアリ

マスルカラ、私共ノ考デハ、金解禁ノ

爲ニ儲ケタ人カラ之ヲ取ツタラ宜カラ

ウ、先程申上ゲマシタヤウニ、貨幣資

本家ハ、曩ニ私ノ政府カラ御報告ヲ戴

イタ數字ダケニ依リマシテモ、金解禁

ノ爲ニ二十一億四千六百萬圓ト云フモ

ノヲ儲ケテ居ル、私共ノ考デハ、個人

スカ

貸借デ、日本ノ貸借ハ大體三百五十六

億アルモノト考ヘテ居ル、若シソレニ

關係アルナラバ、茲ニ約三十億圓カラ

ノモノヲ貨幣資本家ハ儲ケテ居ル譯デ

ハナイカ、ソレデ私共ハ、不景氣ノ爲

メ、金解禁ノ爲ニ起ツタ歳入不足ヲ補フ

トカ、或ハ失業救済ノ爲メノ資金トカ

云フモノハ、ソレカラ取ルベキモノデヤ

ナイカト思フノデアリマスガ、政府ハソ

レヲヤラズシテ、此大事ナ賠償金ノヤウ

ナモノヲソレニ向ケルト云フヤウナコ

トヲ爲サツタノハドウ云フ譯デアルカ、

ソレヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○井上國務大臣 松山君ニ御答致シマ

ス、得ヲシタ、損ヲシタト云フコトヲ

言ハレマスケレドモ、先刻私ガ例ニモ

申上ゲタ如ク、大正三年ニ千圓ノ金ヲ

持ツテ居ッタラ、一遍ハ下ツタガ、又上ツテ

元ニ歸ツタト斯ウ御考ヘ下サルト、損得

ノ問題ハ問題ニナリマセヌ、債權債務

者ノ間ノ損得ノ問題ハ損得ニナリマセ

ヌ、サウ私ハ考ヘテ居リマス

○松山委員 私ノ質問ハ是デ打切りマ

ス

○鈴木委員長 皆サンニ御相談申上ゲ

マス、是デ質疑ハ終ツタモノト致シマシ

テ、若シ小質疑ガアリマシタラ後日ニ

讓ルコトニ致シテ、次ノ時ニ討論ニ入

リタイト思ヒマスガ、御異議アリマセ

ヌカ

「異議ナシト呼フ者ナリ」

○鈴木委員長 是デ今日ハ散會致シマ

午後零時三十八分散會

昭和六年二月十七日印刷

昭和六年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社